

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	4	目	1	説明資料	80	項目番号	7(1)
事務事業名	事務費等(教職員関係)								所管部課名	教育総務部		
										横須賀総合高等学校		

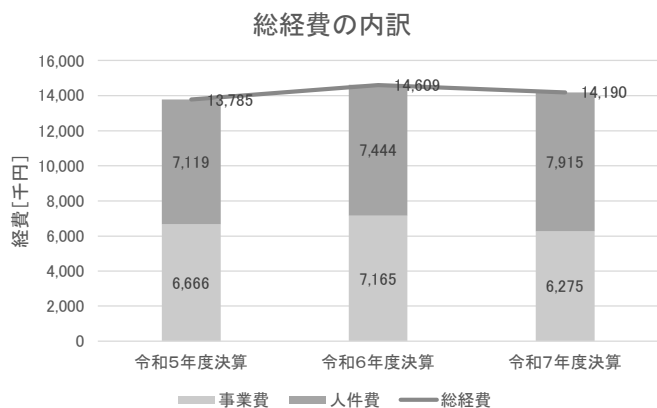
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校教育法第2条～第5条						
事業目的	教育の充実と学校を健全かつ円滑に運営していくために必要な旅費等を支出する。 教員の事務的業務負担軽減のため、教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)を任用する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	市立横須賀総合高校(全日制)における教育の充実と学校の円滑な運営を図る。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	6,666	7,165	6,275	8,373	千円
b 人件費	7,119	7,444	7,915	7,883	千円
正規職員	0.7	0.7	0.7	0.7	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	1,242	1,444	1,662	1,686	千円
総経費（a + b）	13,785	14,609	14,190	16,256	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
スクール・サポート・スタッフ 1名 教職員の出張に関する旅費等 ・普通旅費(日帰り) 941,769円 ・普通旅費(宿泊) 942,474円 ・特別旅費(海外) 4,782,138円	スクール・サポート・スタッフ 1名 教職員の出張に関する旅費等 ・普通旅費(日帰り) 950,485円 ・普通旅費(宿泊) 1,154,686円 ・特別旅費(海外) 5,053,700円 ・有料道路通行料 5,700円	スクール・サポート・スタッフ 1名 教職員の出張に関する旅費等 ・普通旅費(日帰り) 891,856円 ・普通旅費(宿泊) 1,510,398円 ・特別旅費(海外) 3,865,660円 ・有料道路通行料 6,650円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和2年度から3年度まで、新型コロナウイルスの影響で修学旅行（海外）を中止していたが、令和4年度は修学旅行を国内（沖縄）に変更し実施した。 令和5年度から従来どおり海外（シンガポール）への修学旅行を実施しているため多少の支出額の違いはあるが、ほぼ横ばいとなっている。
今後の事業 の方向性	令和5年度以降は、修学旅行を従来どおり海外（シンガポール）での実施としているため、毎年同額程度の特別旅費が見込まれる。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	4	目	1	説明資料	80	項目番号	7(2)
事務事業名	事務費等(全日制高等学校)(校長会等負担金)									所管部課名	教育総務部		
											横須賀総合高等学校		

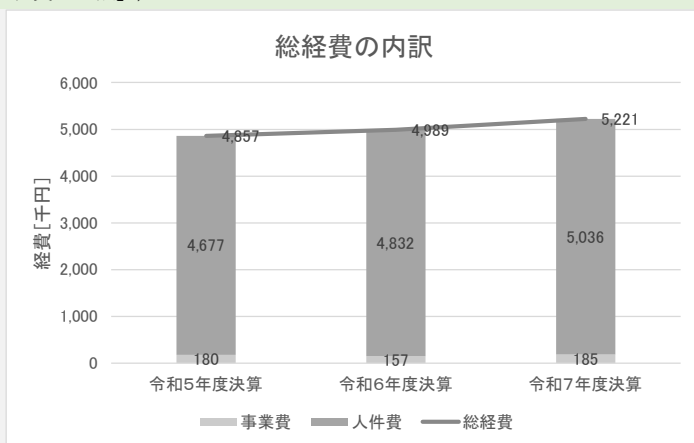
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	全日制高校の校長会等各種団体に参加して、学校運営に関する情報収集・研修・調査研究を行い、学校教育の推進及び学校経営の充実発展に資する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画	
具体的な事業内容	各種団体への会費の支出							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	180	157	185	254	千円
b 人件費	4,677	4,832	5,036	5,018	千円
正規職員	0.5	0.5	0.5	0.5	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	479	546	569	591	千円
総経費（a + b）	4,857	4,989	5,221	5,272	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・各種団体(全国高等学校長会議等)に対し負担金を納入した。 18件	・各種団体(全国高等学校長会議等)に対し負担金を納入した。 16件	・各種団体(全国高等学校長会議等)に対し負担金を納入した。 18件

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	学校運営に関する情報収集・研修・調査研究を行うため、校長等が、各種団体が主催する会議、研修会等に出席し最新の情報を入手している。 団体に加入することで、最新の研究結果や他校との情報交換により情報が入手できることは、横須賀総合高等学校の運営にとって非常に有益なものとなっている。
今後の事業 の方向性	今後も団体加入を継続することで、団体を通じて入手できる情報を活用し、横須賀総合高等学校の運営の充実を図る。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	4	目	2	説明資料	81	項目番号	2(1)(2)(3)(4)
事務事業名	学校運営費(全日制高等学校)								所管部課名	教育総務部		
										横須賀総合高等学校		

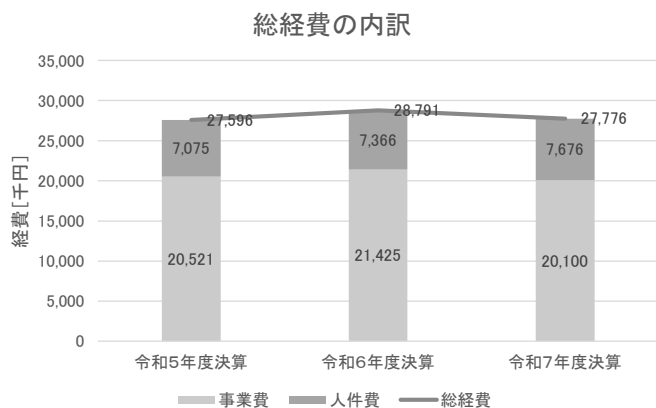
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	学校教育法第2条～第5条						
事業目的	教育活動に必要な一般教材、実験、実習教材等の購入。 パソコン等の修繕。実習教材及び情報関連機器教材の修繕。 社会人講演会等各種講演会の開催。 「履修の手引き」等の印刷。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	市立横須賀総合高等学校(全日制)の一般教材、実験、実習教材ほか教育活動上必要な経費を整備し、教育内容の充実を図る。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	20,521	21,425	20,100	22,334	千円
b 人件費	7,075	7,366	7,676	7,673	千円
正規職員	0.7	0.7	0.7	0.7	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	1,198	1,366	1,423	1,476	千円
総経費（a + b）	27,596	28,791	27,776	30,007	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績		令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
- 講演会の実施 新入生を対象に性教育講演会を実施。 - 印刷物の作成 新入生のしおり等の作成を行った。 - PC等実習教材の修繕の実施 情報機器、楽器等の修繕を行った。 - 教材費の購入 一般教材、実習教材等の購入を行った。		- 講演会の実施 新入生を対象に性教育講演会を実施。 - 印刷物の作成 新入生のしおり等の作成を行った。 - PC等実習教材の修繕の実施 情報機器、楽器等の修繕を行った。 - 教材費の購入 一般教材、実習教材等の購入を行った。	- 講演会の実施 新入生を対象に性教育講演会を実施。 - 印刷物の作成 新入生のしおり等の作成を行った。 - PC等実習教材の修繕の実施 情報機器、楽器等の修繕を行った。 - 教材費の購入 一般教材、実習教材等の購入を行った。
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	当事業は教材費の購入や新入生に配布するしおり等、学校運営を行う上で、固定経費的な要素が強い事業である。生徒の学習意欲向上のため、教科ごとに調整を行いながら教材を購入し安定した運営が行えている。		
今後の事業の方向性	生徒の学習意欲向上に効果が発揮できるよう、教科ごとに購入教材についての打ち合わせを実施する。配当を受けた予算に対し、校内予算会議で各教科に適正な予算配分が行えるよう校内調整を行う。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	4	目	2	説明資料	82	項目番号	2(5)
事務事業名	教育用コンピュータ整備・運用費(全日制高等学校)								所管部課名	学校教育部		
										教育研究所(教育情報担当)		

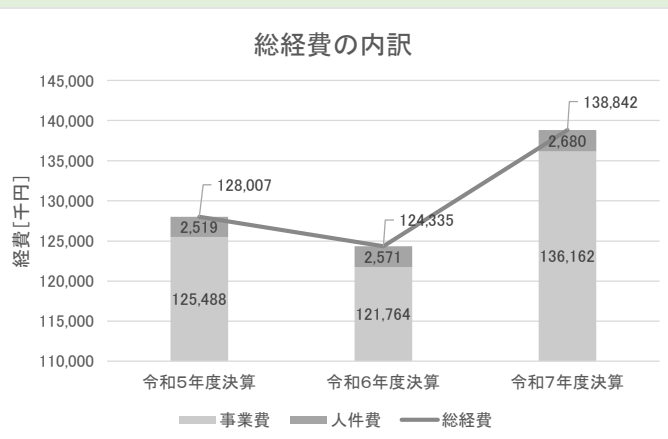
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	学校教育の情報化の推進に関する法律						
事業目的	市立高等学校の構内ネットワークとコンピュータ教室等の安定運用					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・校内ネットワークで運用する各種サーバ、ネットワーク機器の保守管理 ・コンピュータ教室等の保守管理 ・教務システム・教務用PCの保守管理						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	125,488	121,764	136,162	138,516	千円
b 人件費	2,519	2,571	2,680	2,656	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	128,007	124,335	138,842	141,172	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・教員用PC・生徒用固定PCほか周辺機器等更改	・横須賀総合高校WEBウイルス対策サーバ更改	・総合実践室等PC・プリンタ更改

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	BYODの生徒用端末、教員用端末、授業用端末（英語、会計、CAD等）などの各種端末と、ネットワーク、及びシステムサーバの更改、保守運用を行った。 令和5年度は教員用PC・生徒用固定PCほか周辺機器等更改を実施した。 令和6年度は横須賀総合高校WEBウイルス対策サーバ更改を実施したが、前年度に比べて減額となった。 令和7年度は総合実践室等PC・プリンタ更改を実施したため、前年度に比べて増額となった。
今後の事業 の方向性	国の計画等で示されているICT教育水準を維持するため現状の整備規模が必要。 ICT機器、運用方法、セキュリティ等の社会的変化に対応するため引き続き整備する必要がある。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	4	目	2	説明資料	82	項目番号	3(1)
事務事業名	生徒健康管理費(全日制高等学校)										所管部課名	学校教育部		
												保健体育課		

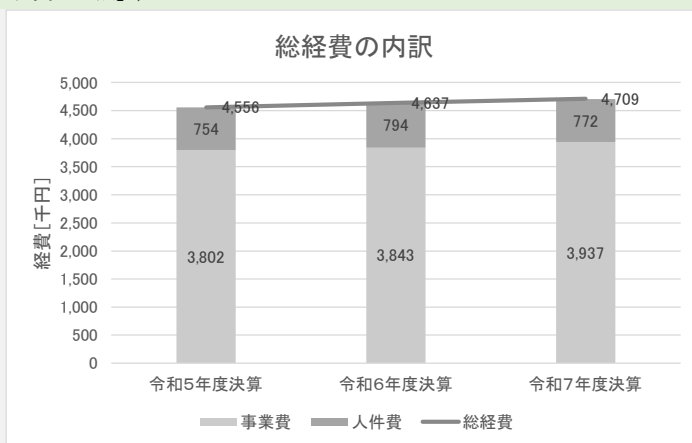
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校保健安全法、独立行政法人日本スポーツ振興センター法						
事業目的	学校における生徒の健康を保持増進し、また、学校管理下における生徒の災害に備え独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済に加入して、学校運営の円滑な実施を確保する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・学校保健安全法の規定に基づき、生徒の各種健康診断を実施する。 定期健康診断の実施(心臓、尿検査は業務委託) ・学校管理下における生徒の災害に備え、独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済に加入する。 掛金内訳 設置者負担(4/10)、個人負担(6/10)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	3,802	3,843	3,937	4,001	千円
b 人件費	754	794	772	740	千円
正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.1	0.1	0.1	0.1	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	226	253	198	201	千円
総経費（a + b）	4,556	4,637	4,709	4,741	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・災害共済加入者 953人 ・受検者(心臓検診) 316人 ・受検者(尿検査) 929人	・災害共済加入者 951人 ・受検者(心臓検診) 320人 ・受検者(尿検査) 922人	・災害共済加入者 955人 ・受検者(心臓検診) 320人 ・受検者(尿検査) 921人

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	災害共済加入者数や健康診断受診者数は毎年度、同水準を保っており、事業費は安定している。
今後の事業の方向性	高等学校(全日制)における生徒の健康を保持増進し、また、学校管理下における生徒の災害に備えるため、継続していく必要がある。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	4	目	2	説明資料	82	項目番号	3(2)
事務事業名	学校保健費(全日制高等学校)								所管部課名	教育総務部		
										横須賀総合高等学校		

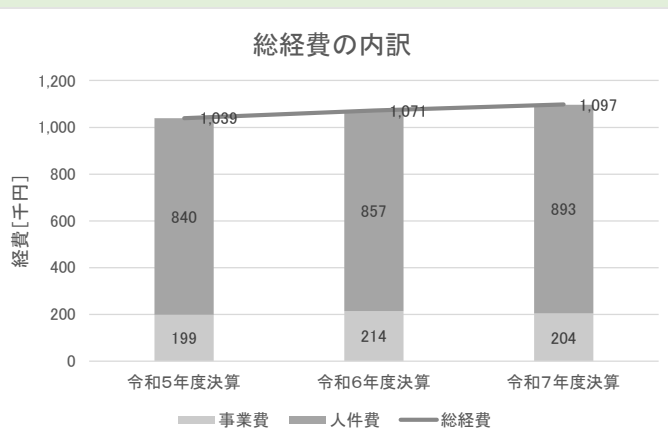
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校保健安全法						
事業目的	生徒用健康手帳の購入。 保健室用消耗品、医薬材料の購入。 救急患者移送用タクシー借上げ。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	市立横須賀総合高等学校(全日制)の学校保健業務の円滑化を図るため、学校環境衛生の管理、保健室の充実等に努める。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	199	214	204	228	千円
b 人件費	840	857	893	885	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	1,039	1,071	1,097	1,113	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
健康診断、健康相談、保健指導、救急処置その他の保健に関する措置を行うための事業を実施した。 ・新入生配布用の健康手帳の購入 ・医薬品の購入	健康診断、健康相談、保健指導、救急処置その他の保健に関する措置を行うための事業を実施した。 ・新入生配布用の健康手帳の購入 ・医薬品の購入	健康診断、健康相談、保健指導、救急処置その他の保健に関する措置を行うための事業を実施した。 ・新入生配布用の健康手帳の購入 ・医薬品の購入

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	全日制保健室を適正に運営するための費用であり、学校の運営上必要不可欠な予算である。 予算は固定経費的な要素が非常に強いため、大幅な予算増減が少ない事業である。
今後の事業 の方向性	保健を取り巻く様々な環境の変化に対し、保護者、生徒の保健に関する要望は今後も強くなることが想定される。 生徒の健康維持のため安定的な運用ができるよう努める。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	4	目	2	説明資料	83	項目番号	4(1)
事務事業名	運動部活動強化育成事業費									所管部課名	学校教育部		
											保健体育課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市立横須賀総合高等学校の運動部活動の活性化を図り、全国レベルの大会での活躍を目指す。 部活動指導員の配置や部活動技術指導者の派遣など、顧問(教員)の業務負担軽減や、練習環境の充実のため、運動部活動のサポートを検討・実施する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・市立横須賀総合高等学校に運動部活動指導者7人(7運動部活動)の報償費及び関東・全国大会出場激励金の支給 ・部活動指導員1人の配置 ・運動部活動への消耗品及び備品の購入、用具・器具の整備						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,972	5,036	4,791	6,415	千円
b 人件費	948	962	1,006	998	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	108	105	113	113	千円
総経費（a + b）	5,920	5,998	5,797	7,413	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績		令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・市立横須賀総合高等学校に運動部活動指導者7人(7運動部活動)に派遣した。 ・部活動指導員1人を配置した。 ・運動部活動への消耗品と備品を購入した。用具・器具を整備した。		・市立横須賀総合高等学校に運動部活動指導者7人(7運動部活動)に派遣した。 ・部活動指導員1人を配置した。 ・運動部活動への消耗品と備品を購入した。用具・器具を整備した。	・市立横須賀総合高等学校に運動部活動指導者7人(7運動部活動)に派遣した。 ・部活動指導員1人を配置した。 ・運動部活動への消耗品と備品を購入した。用具・器具を整備した。
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	全国・関東大会の開催地により、部活動技術指導者激励金の増減がある。 令和5年度は、消耗品費の支出額が減少したため、総経費が例年を下回っている。 令和6年度は、部活動技術指導者の活動時間数が前年より増加したため、総経費が例年を上回っている。 令和7年度は、部活動技術指導者の活動時間数が前年より減少したため、前年と比較し経費減となった。		
今後の事業 の方向性	部活動技術指導者の派遣、部活動指導員の配置は、学校からの要望もあり、技術指導の支援や顧問教員の負担軽減に役立っているの、引き続き継続していく。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	4	目	2	説明資料	83	項目番号	4(2)
事務事業名	文化部育成事業費										所管部課名	学校教育部		
												教育指導課		

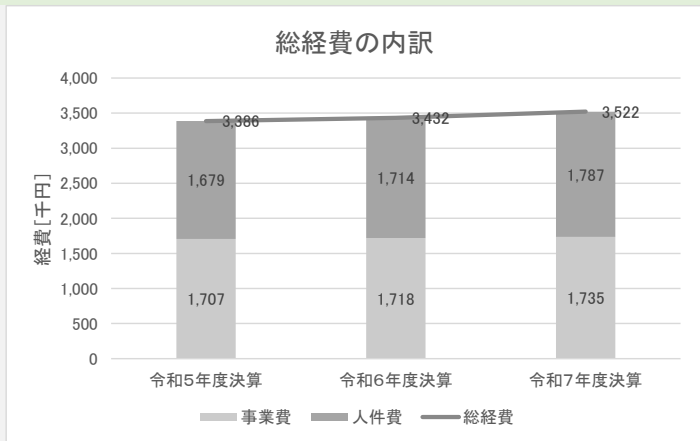
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	横須賀市立横須賀総合高等学校を対象とする。 技術指導の困難な部等を中心に専門の指導者を派遣し、生徒のニーズにこたえとともに、部活動顧問の負担を軽減し、部活動の活性化を図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	横須賀総合高校の吹奏楽部、箏曲部、茶道部、室内楽部、美術部、書道部に部活動技術指導者を各1名派遣する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,707	1,718	1,735	2,836	千円
b 人件費	1,679	1,714	1,787	1,771	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	3,386	3,432	3,522	4,607	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・部活動技術指導者（報償金対象者）を5人派遣した。	・部活動技術指導者（報償金対象者）を6人派遣した。	・部活動技術指導者（報償金対象者）を5人派遣した。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和7年度は書道部への部活動技術指導者の派遣は行わなかったが、吹奏楽部・美術部技術指導者の指導回数が令和6年度と比べて増加したため、令和7年度の総経費は増額となっている。
今後の事業の方向性	部活動における技術的な強化事業であると同時に、部活動顧問における負担軽減の観点から、教職員の働き方改革にも資するため、今後も継続して取り組む必要がある。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	4	目	2	説明資料	83	項目番号	5
事務事業名	高等学校国際交流支援事業費										所管部課名	学校教育部		
												教育指導課		

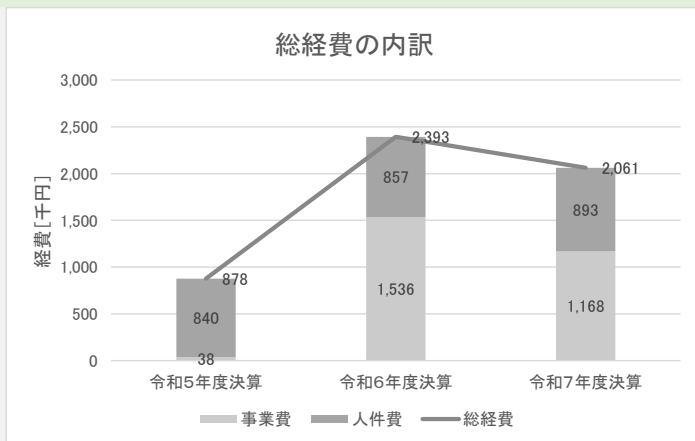
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	横須賀市立横須賀総合高等学校を対象とする。 オーストラリア・クイーンズランド州・ゴールドコースト市にあるエラノラ高校と国際交流を行い、国際教育を推進する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・エラノラ高校の生徒15人と教員2人を1週間受け入れ、横須賀総合高校の職員及び生徒との交流を図る。(隔年実施 平成8年度から交流) ・エラノラ高校へ国際交流のため横須賀総合高校の生徒20人と教員2人を2週間短期研修として派遣する。(毎年実施 平成8年度から交流、平成24年度から毎年実施)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	38	1,536	1,168	1,536	千円
b 人件費	840	857	893	885	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	878	2,393	2,061	2,421	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
・オーストラリア州立エラノラ高校生徒の短期留学の受け入れを行った。	・オーストラリア州立エラノラ高校生徒の短期留学の受け入れは隔年実施のため行わなかった。 ・エラノラ高校へ国際交流のため横須賀総合高校の生徒15人と教員2人を10日間短期研修として派遣した。	・オーストラリア州立エラノラ高校の生徒36人と教員4人の短期留学の受け入れを行った。 ・ニュージーランドのタカプナ・グラマー・ハイスクールへ国際交流のため横須賀総合高校の生徒9人と教員2人を11日間短期研修として派遣した。
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	毎年応募者の増減がある。 令和5年度は、オーストラリア州立エラノラ高校生徒の短期留学の受け入れを行い、横須賀市立横須賀総合高等学校国際交流委員会への委託費用が発生した。 令和6年度は、オーストラリア州立エラノラ高校生徒の短期留学の受け入れは隔年実施のため行わなかったが、横須賀総合高校生徒を派遣したため、総経費は増額した。 令和7年度は、オーストラリア州立エラノラ高校生徒の短期留学の受け入れを行い、横須賀市立横須賀総合高等学校国際交流委員会への委託費用が発生した。一方で、横須賀総合高校生徒と教員の派遣はエラノラ高校から隔年実施の意向が示されたため、派遣先をニュージーランドのタカプナ・グラマー・ハイスクールに変更した。派遣先の変更により教員2人の費用が減額し、それに伴い、総経費も減額した。	
今後の事業の方向性	海外現地校との国際交流は、友好親善と交流を図り、英語を通して異文化圏の生活や習慣について理解を深める事業であるため継続していく。	

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	4	目	2	説明資料	84	項目番号	6(1)
事務事業名	横三地区高等学校総合体育大会補助金									所管部課名	学校教育部		
											保健体育課		

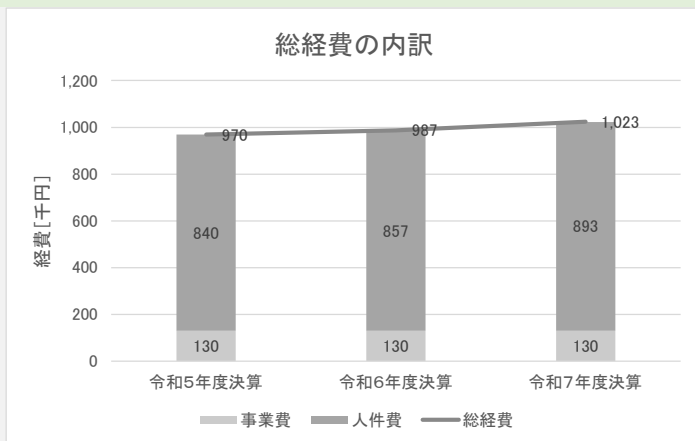
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	横三地区高等学校生徒の体育・スポーツ振興と学校相互の親睦を深め、心身ともに健全な育成を図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画	
具体的な事業内容	横三地区高等学校総合体育大会への補助金の交付							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	130	130	130	130	千円
b 人件費	840	857	893	885	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	970	987	1,023	1,015	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・横三地区高等学校総合体育大会の補助金を交付した。	・横三地区高等学校総合体育大会の補助金を交付した。	・横三地区高等学校総合体育大会の補助金を交付した。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和4・5年度は、感染症対策を講じつつ、通常規模で大会が開催されることに伴い、大会主催者より補助金申請があったため、補助金を交付した。 令和6・7年度は、通常規模で大会が開催されることに伴い、大会主催者より補助金申請があったため、補助金を交付した。
今後の事業 の方向性	各種スポーツ競技の学校間の交流を通じて、横須賀三浦地区高等学校生徒の技術習得・向上に寄与しており、維持継続していく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	4	目	2	説明資料	84	項目番号	6(2)①
事務事業名	全国、関東、高等学校各種大会選手派遣費(全日制高等学校)(体育関係)										所管部課名	学校教育部		
												保健体育課		

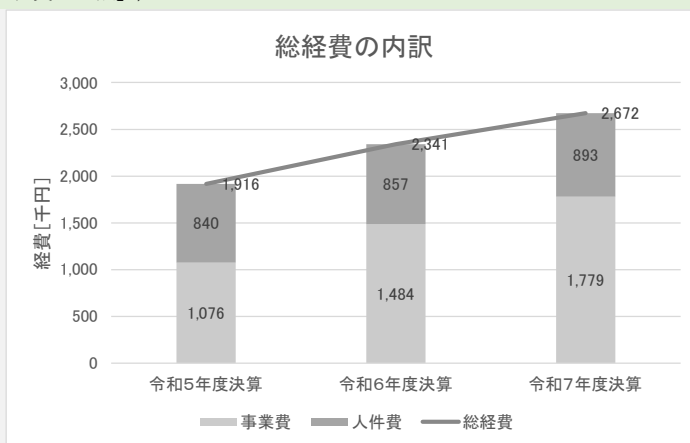
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市立横須賀総合高等学校生徒の体育・スポーツの奨励と心身の健全な育成を図る。 全国、関東大会に派遣することで優秀選手としての自覚を高め、人格を形成しヘルプアップを図る。 県代表として、全国大会に出場する市立横須賀総合高等学校に対して、激励と一般市民へのPRを兼ねて懸垂幕(横断幕)を作成、掲示すると同時に学校の経費負担軽減を図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・関東、全国大会へ本市代表として選手を派遣し、激励費を支給する(対象:市立横須賀総合高等学校)。 ・全国大会出場に際し、壮行会費用を支給する(対象:市立横須賀総合高等学校)。 ・全国大会出場に際し、学校・生徒の志気の高揚、市民へのPRのため、懸垂幕(横断幕)を作成、掲示する(対象:市立横須賀総合高等学校)。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,076	1,484	1,779	2,483	千円
b 人件費	840	857	893	885	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	1,916	2,341	2,672	3,368	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・全国・関東大会へ本市代表として選手を派遣し、激励費を支給した。(対象:市立横須賀総合高等学校)	・全国・関東大会へ本市代表として選手を派遣し、激励費を支給した。(対象:市立横須賀総合高等学校)	・全国・関東大会へ本市代表として選手を派遣し、激励費を支給した。(対象:市立横須賀総合高等学校)

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	激励費の支給額については、全国・関東大会の開催地や、出場生徒数によって増減する。
今後の事業の方向性	全日制高等学校生徒の体育・スポーツの奨励と心身の健全な育成、全国・関東大会の出場資格を得た生徒の出場機会を保障するため、事業を継続する。

令和８年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	4	目	2	説明資料	84	項目番号	6(2)②
事務事業名	全国、関東、高等学校各種大会選手派遣費(全日制高等学校)(文化関係)									所管部課名	学校教育部		
											教育指導課		

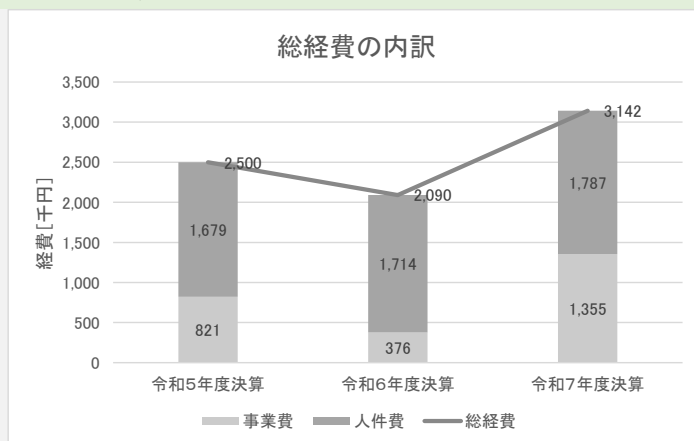
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市立高等学校を対象とする。 大会に優秀部員を派遣し、本市高等学校生徒の力を発揮してもらい、それとともに相互交流も図り、文化部活動の充実、質的向上、活性化を図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	全国大会及び関東大会等高等学校生徒の大会派遣にかかる交通費、大会参加費及び運搬費を支給する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	821	376	1,355	1,507	千円
b 人件費	1,679	1,714	1,787	1,771	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	2,500	2,090	3,142	3,278	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
各種大会への派遣費(交通費、大会参加費及び機材等の運搬費)を支給した。 (出場実績) ・全国高等学校総合文化祭 ・全国パソコン技能競技大会 ・全国高等学校ワープロ競技大会	各種大会への派遣費(交通費、大会参加費及び機材等の運搬費)を支給した。 (出場実績) ・全国高等学校総合文化祭 ・全国高等学校ワープロ競技大会	各種大会への派遣費(交通費、大会参加費及び機材等の運搬費)を支給した。 (出場実績) ・全国高等学校総合文化祭 ・全国高等学校ワープロ競技大会

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	経費は、部活動等の大会の結果や開催場所によるものであり、年度ごとに経費が増減する。
今後の事業 の方向性	県大会やその上位の大会では、開催地が遠方になる場合が多く、そのことに伴い、交通費、大会参加費及び機材等の運搬費の負担が大きくなるため、教育委員会で引き続き、派遣費補助の予算措置を行う。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	5	目	1	説明資料	86	項目番号	2(1)(4)
事務事業名	事務費等(定時制高等学校)								所管部課名	教育総務部		
										横須賀総合高等学校		

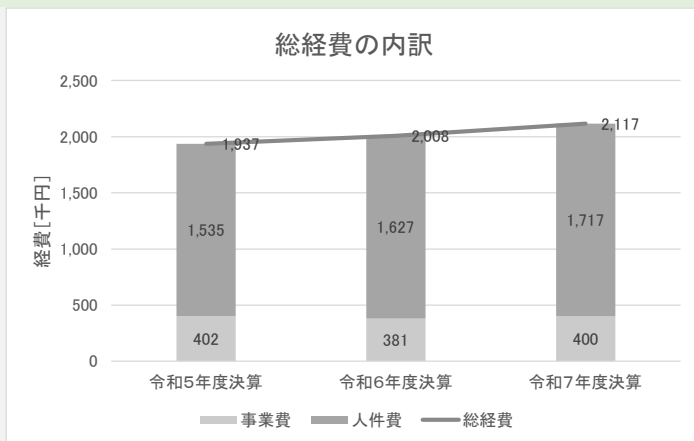
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校教育法第2条～第5条						
事業目的	学校を健全かつ円滑に運営していくための管理用消耗品や灯油などの燃料、卒業証書等の印刷等需用費の執行。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	学校を健全かつ円滑に運営していくため、市立横須賀総合高等学校(定時制)の適切な管理運営を行う。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	402	381	400	459	千円
b 人件費	1,535	1,627	1,717	1,668	千円
正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.2	0.2	0.2	0.2	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	479	546	569	591	千円
総経費（a + b）	1,937	2,008	2,117	2,127	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績		令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
定時制の運営に関する経費を支出した。 ・消耗品、通信費、印刷製本費等運営に係る経費		定時制の運営に関する経費を支出した。 ・消耗品、通信費、印刷製本費等運営に係る経費	定時制の運営に関する経費を支出した。 ・消耗品、通信費、印刷製本費等運営に係る経費
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	定時制の学校運営に必要な経費であり、固定経費的な要素が強い予算である。		
今後の事業 の方向性	消耗品等の価格が高騰する中で安定的な運用ができるように努める。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	5	目	1	説明資料	86	項目番号	2(2)
事務事業名	事務費等(定時制高等学校)(教職員関係)								所管部課名	教育総務部		
										横須賀総合高等学校		

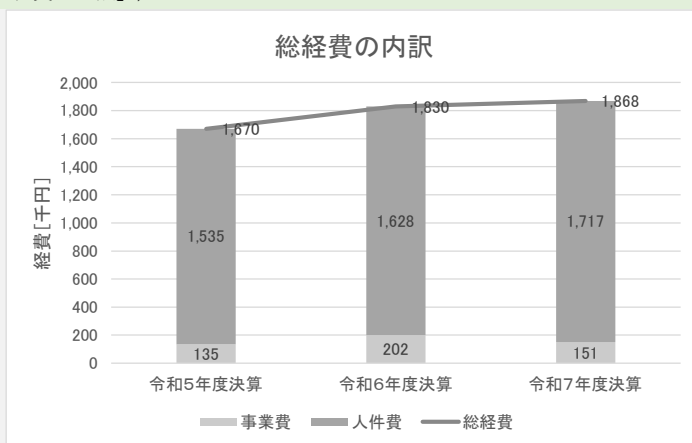
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校教育法第2条～第5条						
事業目的	市費職員（養護教諭、校長）の生徒引率や出張に対しての旅費支給を行う。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・市立横須賀総合高等学校（定時制）における教育の充実と学校の円滑な運営を図る。 ・養護教諭が生徒の付添として修学旅行等を行う旅費及び校長（併任）の出張旅費。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	135	202	151	213	千円
b 人件費	1,535	1,628	1,717	1,668	千円
正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.2	0.2	0.2	0.2	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	479	547	569	591	千円
総経費（a + b）	1,670	1,830	1,868	1,881	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・教職員の出張に関する旅費を支出した。 普通旅費 134,980円	・教職員の出張に関する旅費を支出した。 普通旅費 202,220円	・教職員の出張に関する旅費を支出した。 普通旅費 150,920円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	修学旅行の安全性を確保するため、養護教諭と管理職の同行を必要としている。 同行する管理職（校長・教頭）によって支出額が増減している。 * 校長（市費）・教頭（県費）
今後の事業の方向性	修学旅行については、保護者・生徒の経済的な負担が大きくなるよう行先や内容等について研究を進め、令和7年度から旅行先を沖縄から広島へ変更している。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	5	目	1	説明資料	86	項目番号	2(3)
事務事業名	事務費等(定時制高等学校)(教育指導関係経費)									所管部課名	学校教育部		
											教育指導課		

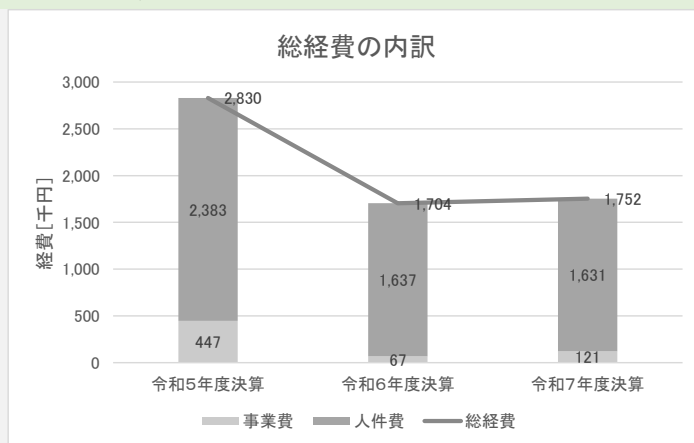
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	身体に障害があり、教育活動及び校外学習において、支障をきたす可能性がある生徒に対し、支援 介助員を配置することにより教育活動の一層の充実を図る。 また、学び直し支援金により在籍する生徒への補助を行う。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な 事業内容	・介助を要する生徒に対し支援介助員を配置する。 ・定時制に在籍する該当生徒への学び直し支援金（授業料補助）の支給を行う。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	447	67	121	253	千円
b 人件費	2,383	1,637	1,631	3,393	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	1,543	780	738	2,508	千円
総経費（a + b）	2,830	1,704	1,752	3,646	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移 (【総経費の内訳】)



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・学び直し支援金を支給した。 ・横須賀総合高校（定時制）に介助員を2人配置した。	・学び直し支援金を支給した。 ・横須賀総合高校（定時制）に介助員を1人配置した。	・学び直し支援金を支給した。 ・横須賀総合高校（定時制）に介助員を1人配置した。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和5年度は、介助員1名増に加え、介助員の修学旅行付き添い等による報償金、旅費の支出により、前年度よりも総経費が増額となった。令和6年度は、介助を要する生徒が1名であった。該当生徒は修学旅行に行く年次ではなかったため、修学旅行付き添いの介助員の配置はなかった。 令和7年度は、介助を要する生徒が1名であった。該当生徒は修学旅行に行く年次ではなかったため、修学旅行付き添いの介助員の配置はなかった。
今後の事業 の方向性	介助員については、横須賀総合高校の教育の質を担保するという意味でも、生徒の実態に応じた介助員の配置は継続していく。 学び直し支援金については、国の政策として制度がある限り、公立高校として継続することが適切である。

令和 8 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	5	目	1	説明資料	86	項目番号	2(4)																
事務事業名		事務費等(定時制高等学校)(校長会等負担金)									所管部課名	教育総務部 横須賀総合高等学校																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込		未定																						
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																													
根拠法令																														
事業目的	定時制高校の校長会等各種団体に参加して、学校運営に関する情報収集・研修・調査研究を行い、学校教育の推進及び学校経営の充実発展に資する。									分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																			
具体的な事業内容	各種団体への会費の支出																													
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源 (人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)																														
区 分					令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位																					
a 事業費 (予算現額・支出済額)					36	36	37	39	千円																					
b 人件費					528	541	574	539	千円																					
正規職員					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
再任用職員 (短時間を含む)					0.1	0.1	0.1	0.1	人																					
会計年度任用職員 (フルタイム、パートタイム)					0	0	0	0	千円																					
総経費 (a + b)					564	577	611	578	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移 (【総経費の内訳】)																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>36</td><td>528</td><td>564</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>36</td><td>541</td><td>577</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>37</td><td>574</td><td>611</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和5年度決算	36	528	564	令和6年度決算	36	541	577	令和7年度決算	37	574	611
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和5年度決算	36	528	564																											
令和6年度決算	36	541	577																											
令和7年度決算	37	574	611																											
令和 5 年度の活動実績					令和 6 年度の活動実績					令和 7 年度の活動実績																				
・各種団体(全国高等学校長会議等)に対し負担金を納入した。 6件					・各種団体(全国高等学校長会議等)に対し負担金を納入した。 7件					・各種団体(全国高等学校長会議等)に対し負担金を納入した。 8件																				
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	学校運営に関する情報収集・研修・調査研究を行うため、校長等が、各種団体が主催する会議、研修会等に出席し最新の情報を入手している。団体に加入することで、最新の研究結果や他校との情報交換により情報が入手できることは、横須賀総合高等学校の運営にとって非常に有益なものとなっている。																													
今後の事業の方向性	今後も団体加入を継続することで、団体を通じて入手できる情報を活用し、横須賀総合高等学校の運営の充実を図る。																													

令和 8 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	5	目	2	説明資料	87	項目番号	1																
事務事業名	教材費(定時制高等学校)										所管部課名	教育総務部																		
												横須賀総合高等学校																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定																							
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務																													
根拠法令	学校教育法第2条～第5条																													
事業目的	教育活動に必要な一般教材、実験、実習教材等の購入。										分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																		
具体的な事業内容	市立横須賀総合高等学校(定時制)の一般教材、実験、実習教材ほか教育活動上必要な経費を整備し、教育内容の充実を図る。																													
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)																														
区 分					令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度決算	令和7年度予算	単位																					
a 事業費(予算現額・支出済額)					2,636	3,164	3,056	3,350	千円																					
b 人件費					2,254	2,447	2,571	2,553	千円																					
正規職員					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
再任用職員(短時間を含む)					0.2	0.2	0.2	0.2	人																					
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)					1,198	1,366	1,423	1,476	千円																					
総経費(a + b)					4,890	5,611	5,627	5,903	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>2,636</td><td>2,254</td><td>4,890</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>3,164</td><td>2,447</td><td>5,611</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>3,056</td><td>2,571</td><td>5,627</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和5年度決算	2,636	2,254	4,890	令和6年度決算	3,164	2,447	5,611	令和7年度決算	3,056	2,571	5,627
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和5年度決算	2,636	2,254	4,890																											
令和6年度決算	3,164	2,447	5,611																											
令和7年度決算	3,056	2,571	5,627																											
令和5年度の活動実績					令和6年度の活動実績					令和7年度の活動実績																				
・教材費の購入 一般教材、実習教材等の購入を行った。					・教材費の購入 一般教材、実習教材等の購入を行った。					・教材費の購入 一般教材、実習教材等の購入を行った。																				
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	当事業は定時制教材費の購入を行う費用であり、固定経費的な要素が強い事業である。 生徒の学習意欲向上のため、教科ごとに調整を行いながら教材を購入し安定した運営が行えている。																													
今後の事業の方向性	生徒の学習意欲向上に効果が発揮できるよう、教科ごとに購入教材についての打ち合わせを実施する。 配当を受けた予算に対し、各教科担当へ適正な予算配分が行えるよう校内調整を行う。																													

令和 8 年度 事務事業等の総点検																													
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	5	目	2	説明資料	87	項目番号	2															
事務事業名	教科書給与費										所管部課名	学校教育部 教育指導課																	
(1) 事務事業の概要																													
実施分類	直営	財源構成	市単		受益者負担		なし		事業終了の見込		未定																		
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																												
根拠法令																													
事業目的	横須賀総合高等学校定時制の有職生徒を対象とする。 定時制高等学校で学ぶ勤労青少年の経済的負担を軽減し、教育の機会均等などの充実を図るとともに、生徒の学習意欲の向上を図る。										分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																	
具体的な事業内容	就業している横須賀総合高等学校定時制の生徒に対し教科書代金の半額を助成する。																												
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																													
区 分					令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位																				
a 事業費（予算現額・支出済額）					0	0	0	50	千円																				
b 人件費					0	0	0	0	千円																				
正規職員					0.0	0.0	0.0	0.0	人																				
再任用職員（短時間を含む）					0.0	0.0	0.0	0.0	人																				
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					0	0	0	0	千円																				
総経費（a + b）					0	0	0	50	千円																				
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																													
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></tbody></table>														年度	事業費	人件費	総経費	令和5年度決算	0	0	0	令和6年度決算	0	0	0	令和7年度決算	0	0	0
年度	事業費	人件費	総経費																										
令和5年度決算	0	0	0																										
令和6年度決算	0	0	0																										
令和7年度決算	0	0	0																										
令和 5 年度の活動実績				令和 6 年度の活動実績				令和 7 年度の活動実績																					
申請者なし				申請者なし				申請者なし																					
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	平成27年6月以降、非課税世帯を対象に県高校生等奨学給付金の制度の拡充、及び生活保護世帯には生業扶助費が支給されることから、平成28年度以降の申請はないのが現状である。																												
今後の事業の方向性	対象となる生徒数が家庭の事情によることから、引き続き予算計上は必要である。																												

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	5	目	2	説明資料	87	項目番号	3(1)
事務事業名	生徒健康管理費(定時制高等学校)										所管部課名	学校教育部		
												保健体育課		

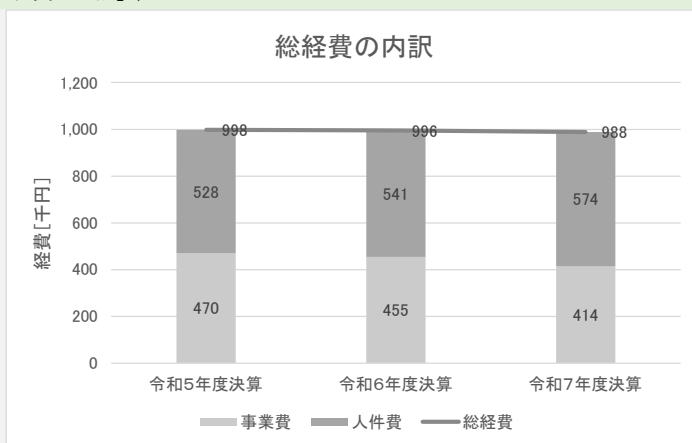
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校保健安全法、独立行政法人日本スポーツ振興センター法						
事業目的	学校における生徒の健康を保持増進し、また、学校管理下における生徒の災害に備え独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済に加入して、学校運営の円滑な実施を確保する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・学校保健安全法の規定に基づき、生徒の各種健康診断を実施する。 定期健康診断の実施(心臓、尿検査は業務委託) ・学校管理下における生徒の災害に備え、独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済に加入する。 掛金内訳 設置者負担(4/10)、個人負担(6/10)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	470	455	414	608	千円
b 人件費	528	541	574	539	千円
正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.1	0.1	0.1	0.1	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	998	996	988	1,147	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績		令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・災害共済加入者 168人 ・受検者(心臓検診)58人 ・受検者(尿検査)152人		・災害共済加入者 166人 ・受検者(心臓検診)53人 ・受検者(尿検査)142人	・災害共済加入者 174人 ・受検者(心臓検診)42人 ・受検者(尿検査)145人
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	災害共済加入者数や健康診断受診者数は毎年度、同水準を保っている。		
今後の事業 の方向性	高等学校(定時制)における生徒の健康を保持増進し、また、学校管理下における生徒の災害に備えるため、継続していく必要がある。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	5	目	2	説明資料	87	項目番号	3(2)																
事務事業名		学校保健費(定時制高等学校)									所管部課名		教育総務部																	
													横須賀総合高等学校																	
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定																							
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務																													
根拠法令	学校保健安全法																													
事業目的	生徒用健康手帳の購入、保健室用消耗品・医薬材料の購入、救急患者移送用タクシー借上げ。									分野別計画		横須賀市教育振興基本計画																		
具体的な事業内容																														
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源 (人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)																														
区 分					令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位																					
a 事業費 (予算現額・支出済額)					68	67	64	84	千円																					
b 人件費					528	541	574	539	千円																					
正規職員					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
再任用職員 (短時間を含む)					0.1	0.1	0.1	0.1	人																					
会計年度任用職員 (フルタイム、パートタイム)					0	0	0	0	千円																					
総経費 (a + b)					596	608	638	623	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移 (【総経費の内訳】)																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>68</td><td>528</td><td>596</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>67</td><td>541</td><td>608</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>64</td><td>574</td><td>638</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和5年度決算	68	528	596	令和6年度決算	67	541	608	令和7年度決算	64	574	638
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和5年度決算	68	528	596																											
令和6年度決算	67	541	608																											
令和7年度決算	64	574	638																											
令和 5 年度の活動実績					令和 6 年度の活動実績					令和 7 年度の活動実績																				
健康診断、健康相談、保健指導、救急処置その他の保健に関する措置を行うため事業を実施 ・新入生配布用の健康手帳の購入 ・医薬品の購入 ・救急患者搬送タクシー代					健康診断、健康相談、保健指導、救急処置その他の保健に関する措置を行うため事業を実施 ・新入生配布用の健康手帳の購入 ・医薬品の購入 ・救急患者搬送タクシー代					健康診断、健康相談、保健指導、救急処置その他の保健に関する措置を行うため事業を実施 ・新入生配布用の健康手帳の購入 ・医薬品の購入 ・救急患者搬送タクシー代																				
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)		定時制保健室を適正に運営するための費用であり、学校の運営上必要不可欠な予算である。予算は固定経費的な要素が非常に強いため、大幅な予算増減が少ない事業である。																												
今後の事業の方向性		生徒の健康維持のため、安定的な運用ができるよう今後も努めていく。																												

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	5	目	2	説明資料	88	項目番号	4(1)
事務事業名	全国、関東、高等学校各種大会選手派遣費(定時制高等学校)(体育関係)										所管部課名	学校教育部		
												保健体育課		

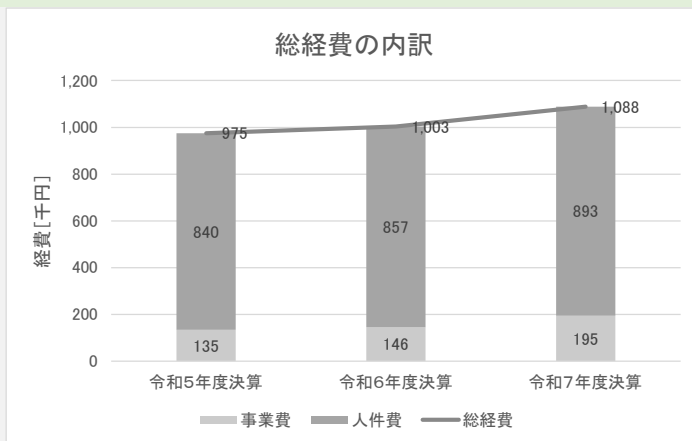
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	本市定時制高等学校生徒の体育・スポーツの奨励と心身の健全な育成を図る。 全国・関東大会に派遣することで優秀選手としての自覚を高め、人格を形成しレベルアップを図る。県代表として、全国大会に出場する市内の高等学校に対して、激励と一般市民へのPRを兼ねて懸垂幕(横断幕)を作成、掲示すると同時に学校の経費負担軽減を図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・関東、全国大会へ本市代表として選手を派遣し、激励費を支給する。(対象:市立横須賀総合高等学校) ・全国大会出場に際し、壮行会費用を支給する。(対象:市立横須賀総合高等学校) ・全国体育大会出場に際し、学校・生徒の志気の高揚、市民へのPRのため、懸垂幕(横断幕)を作成、掲示する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	135	146	195	321	千円
b 人件費	840	857	893	885	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	975	1,003	1,088	1,206	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績		令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・関東、全国大会へ本市代表として選手を派遣し、激励費を支給した。(対象:市立横須賀総合高等学校) ・全国体育大会出場に際し、壮行会費用を支給、懸垂幕(横断幕)を作成、掲示した。(対象:市立横須賀総合高等学校定時制)		・関東、全国大会へ本市代表として選手を派遣し、激励費を支給した。(対象:市立横須賀総合高等学校) ・全国体育大会出場に際し、壮行会費用を支給、懸垂幕(横断幕)を作成、掲示した。(対象:市立横須賀総合高等学校定時制)	・関東、全国大会へ本市代表として選手を派遣し、激励費を支給した。(対象:市立横須賀総合高等学校) ・全国体育大会出場に際し、壮行会費用を支給、懸垂幕(横断幕)を作成、掲示した。(対象:市立横須賀総合高等学校定時制)
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	激励費の支給額については、全国・関東大会の開催地や、出場生徒数によって増減する。		
今後の事業 の方向性	定時制高等学校生徒の体育・スポーツの奨励と心身の健全な育成、全国・関東大会の出場資格を得た生徒の出場機会を保障するため、事業を継続する。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	5	目	2	説明資料	88	項目番号	4(2)(3)
事務事業名	事務費等(定時制高等学校)								所管部課名	教育総務部		
										横須賀総合高等学校		

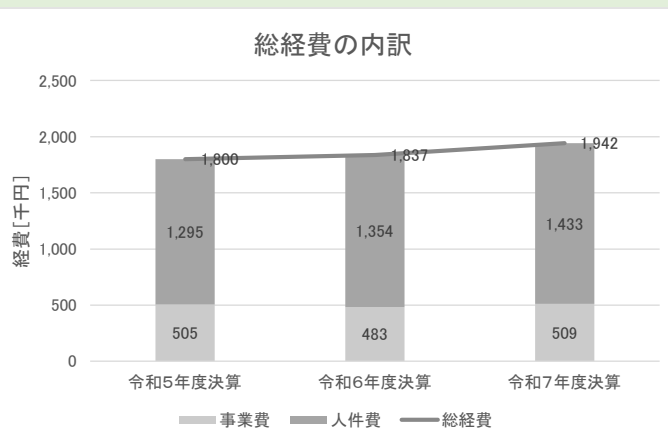
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校教育法第2条～第5条						
事業目的	社会人講演会等各種講演会の開催。 「履修の手引き」等の印刷。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	市立横須賀総合高等学校(定時制)の教育活動上必要な経費(講演会経費等)を整備し、教育内容の充実を図る。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	505	483	509	632	千円
b 人件費	1,295	1,354	1,433	1,372	千円
正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.2	0.2	0.2	0.2	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	239	273	285	295	千円
総経費（a + b）	1,800	1,837	1,942	2,004	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績		令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
外部講師による講演会の実施と生徒配布用の印刷物を作成した。 ・保健講演会、社会人講演会の実施 ・新入生を対象とした履修の手引き等の作成		外部講師による講演会の実施と生徒配布用の印刷物を作成した。 ・保健講演会、社会人講演会の実施 ・新入生を対象とした履修の手引き等の作成	外部講師による講演会の実施と生徒配布用の印刷物を作成した。 ・保健講演会、社会人講演会の実施 ・新入生を対象とした履修の手引き等の作成
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	外部講師により実施した保健講演会（性教育講演会）は定時制生徒全体が受講する講演会である。養護教諭が毎年講師の選定や内容を新しくすることで、新入生以外の生徒でも関心を持てる内容となっている。生徒配布用の印刷物は新入生が科目選択の参考となる冊子であり、例年印刷する必要がある、固定経費的な要素が強い。		
今後の事業 の方向性	生徒を取り巻く社会情勢を注視し生徒が望む講演会が行えるよう研究を進めていく。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	5	目	2	説明資料	88	項目番号	4(3)
事務事業名	定時制高等学校費(欠席等連絡ツール使用料)								所管部課名	学校教育部		
										教育研究所(教育情報担当)		

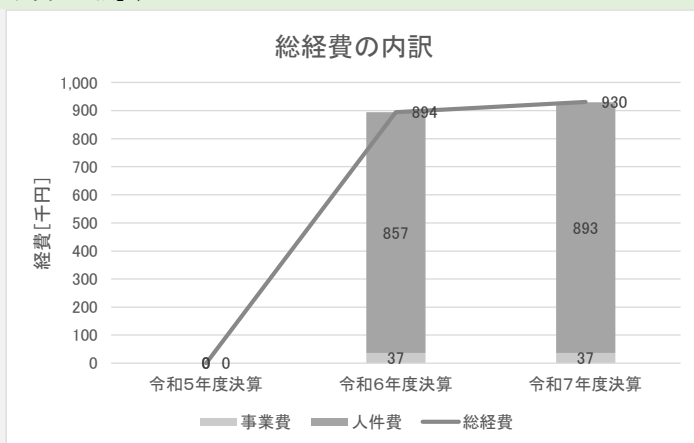
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	学校教育の情報化の推進に関する法律							
事業目的	保護者の電話連絡の負担軽減及び学校現場の効率化等のため、保護者から学校への欠席等の連絡が行える電子ツールを導入する。(高校定時制分)					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画	
具体的な事業内容	欠席等連絡ツールの使用料(高校定時制分)							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）		37	37	37	千円
b 人件費	0	857	893	885	千円
正規職員		0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）		0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）		0	0	0	千円
総経費（a + b）	0	894	930	922	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
	始業時の時間帯に集中していた電話対応が減少し、教職員が始業時の打合せや授業準備等、本来の業務に専念できる環境となった。学校運営の効率化や業務負担の軽減に寄与した。	始業時の時間帯に集中していた電話対応が減少し、教職員が始業時の打合せや授業準備等、本来の業務に専念できる環境となった。 また、市から緊急一斉連絡を可能にした。その他、市のイベント情報等を紙での配付から電子データによる配信に移行した。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・学校数や単価に変更はないため、事業費については同額で推移している。
今後の事業の方向性	欠席等連絡ツールについては、学校運営の効率化や業務負担の軽減に資するものとして、今後も継続して活用を進める。加えて、教育委員会等からの保護者への一斉送信についても引き続き行う。今後も、ICTを活用した連絡体制の充実と学校現場の働き方改革を推進していく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	6	目	1	説明資料	89	項目番号	2
-------	----	------	---	----	---	---	---	---	------	----	------	---

事務事業名	学校運営費(ろう学校)(総務関係)	所管部課名	教育総務部
			総務課

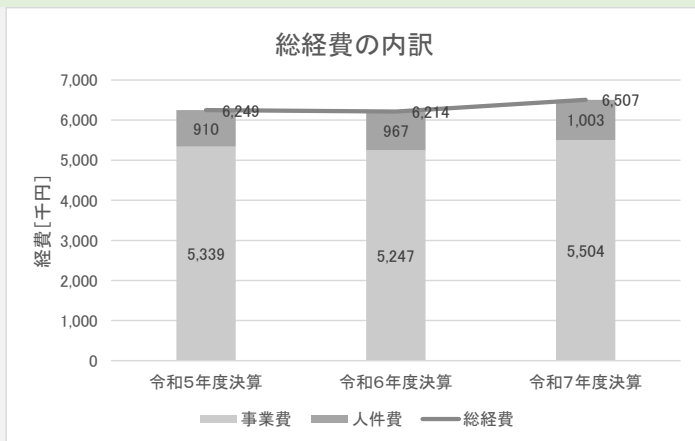
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	横須賀市立ろう学校の学校運営上必要な経常経費の予算計上及び執行により、市立ろう学校の整備の充実を図り、教育内容の向上を目指す。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・総務課 学校への予算配当、支出処理、学校共通物品等の調達（災害時用備蓄品等） ・学校 校長裁量による学校配当予算の執行（支出処理は総務課）						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	5,339	5,247	5,504	5,956	千円
b 人件費	910	967	1,003	999	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	70	110	110	114	千円
総経費（a + b）	6,249	6,214	6,507	6,955	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
------------	------------	------------

・学校行事式典時手話通訳等謝礼 264千円 ・学校備品購入費 510千円 ・修繕料 724千円 ・管理用消耗品費 1,027千円 ・機械器具借上料 2,419千円 ・その他学校管理運営費 395千円	・学校行事式典時手話通訳等謝礼 257千円 ・学校備品購入費 302千円 ・修繕料 737千円 ・管理用消耗品費 974千円 ・機械器具借上料 2,419千円 ・その他学校管理運営費 558千円	・学校行事式典時手話通訳等謝礼 243千円 ・学校備品購入費 1,209千円 ・修繕料 630千円 ・管理用消耗品費 1,267千円 ・機械器具借上料 1,613千円 ・その他学校管理運営費 542千円
--	--	--

年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の 増減理由等)	・各年度で学校配当予算を有効に活用し、運営状況に応じて、ろう学校が必要な物品等を調達しているため、年度ごとの決算額は増減している。
---	--

今後の事業 の方向性	学校運営に必要な事業(経費)のため事業廃止の予定はないが、執行にあたっては小中学校等との学校間での不用物品の相互利用を行うなど、更なる効率的な執行を図っていく。
---------------	--

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	6	目	1	説明資料	89	項目番号	2(8)①
事務事業名	特別支援学校費ろう学校費(欠席等連絡ツール使用料)								所管部課名	学校教育部		
										教育研究所(教育情報担当)		

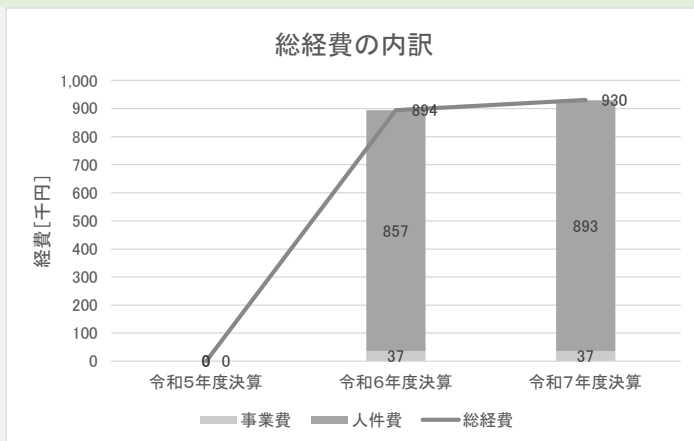
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	学校教育の情報化の推進に関する法律							
事業目的	保護者の電話連絡の負担軽減及び学校現場の効率化等のため、保護者から学校への欠席等の連絡が行える電子ツールを導入する。(ろう学校分)					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画	
具体的な事業内容	欠席等連絡ツールの使用料(ろう学校分)							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）		37	37	37	千円
b 人件費	0	857	893	885	千円
正規職員		0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）		0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）		0	0	0	千円
総経費（a + b）	0	894	930	922	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
	始業時の時間帯に集中していた電話対応が減少し、教職員が始業時の打合せや授業準備等、本来の業務に専念できる環境となった。学校運営の効率化や業務負担の軽減に寄与した。	始業時の時間帯に集中していた電話対応が減少し、教職員が始業時の打合せや授業準備等、本来の業務に専念できる環境となった。 また、市からの緊急一斉連絡を可能にした。その他、市のイベント情報等を紙での配付から電子データによる配信に移行した。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の 増減理由等）	・学校数や単価に変更はないため、事業費については同額で推移している。
今後の事業 の方向性	欠席等連絡ツールについては、学校運営の効率化や業務負担の軽減に資するものとして、今後も継続して活用を進める。加えて、教育委員会等からの保護者への一斉送信についても引き続き行う。今後も、ICTを活用した連絡体制の充実と学校現場の働き方改革を推進していく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	6	目	1	説明資料	89	項目番号	2(8)②
事務事業名	水泳授業経費(ろう学校)								所管部課名	学校教育部		
										保健体育課		

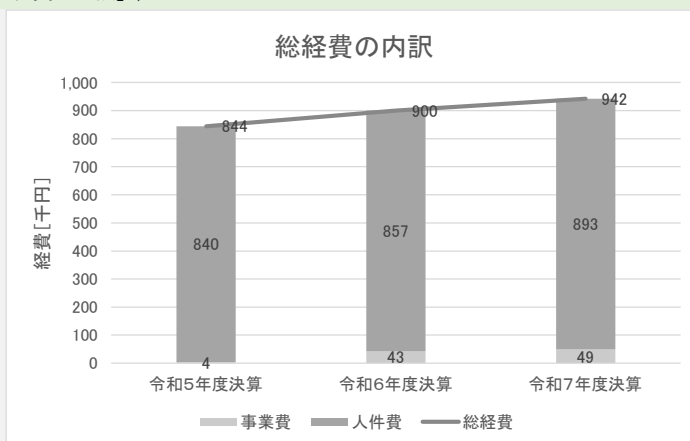
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	ろう学校の水泳授業を横須賀サブアリーナ温水プールで行い、児童生徒の水泳授業を確保する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・水泳授業を実施する横須賀アリーナまでの往復交通費の支給(借上げタクシー・路線バス)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4	43	49	61	千円
b 人件費	840	857	893	885	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	844	900	942	946	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・水泳授業の交通費の支給	・水泳授業の交通費の支給(借上げタクシー)	・水泳授業の交通費の支給(借上げタクシー)小学部 ・水泳授業の交通費の支給(路線バス)中学部

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和6年度は、水泳授業実施のための交通機関が路線バスから借上げタクシーに変更となり、経費が増加した。 令和7年度は、中等部の水泳授業実施のための路線バス代を追加で支出したため、経費が増加した。
今後の事業の方向性	体育・スポーツの奨励と心身の健全な育成、体力づくり等に効果を上げており、当面維持継続していく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	6	目	1	説明資料	90	項目番号	4
事務事業名	学校営繕工事費(ろう学校)								所管部課名	教育総務部 学校管理課		

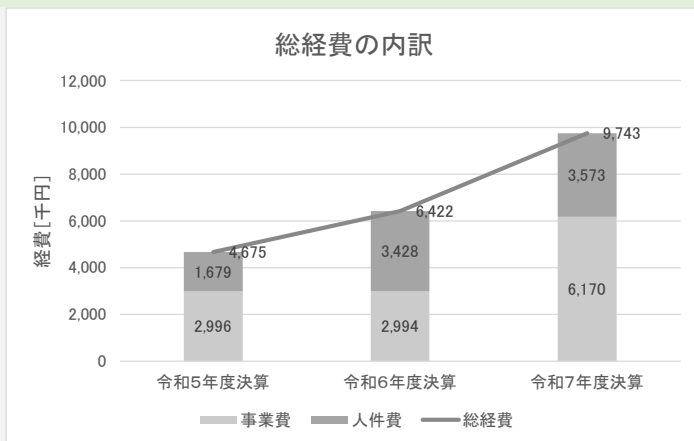
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市市	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	施設(建物・校庭等)の経年劣化による損耗、機能低下に対する復旧及び教育環境の質的向上を図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	校舎、体育館、校庭等の学校施設を、工事や修繕により維持補修する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	2,996	2,994	6,170	9,125	千円
b 人件費	1,679	3,428	3,573	3,541	千円
正規職員	0.2	0.4	0.4	0.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	4,675	6,422	9,743	12,666	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績		令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・修繕の実施 教室内照明の改修など、9件の修繕を実施した。		・修繕の実施 複合遊具の改修など、8件の修繕を実施した。	・修繕の実施 トイレ洋式化の改修など、9件の修繕を実施した。 ・改修工事の実施 高圧引込設備の改修工事を実施した。
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	実施する工事は、学校からの修理要望や現場調査を基に、安全・安心および教育環境の維持・向上の観点から必要なものや、緊急を要するものは優先的に実施するなど、必要に応じて内容や実施時期を調整している。 また、工事はカリキュラムや行事への影響など、学校への負担も大きいことから、学校と事前に調整をし、工期の調整や施工の可否を判断している。 以上の点から、実施する工事や修繕が年度によって変わるため、金額が変動する。		
今後の事業 の方向性	学校施設の安全を確保するため、事業を継続し必要な修繕を実施していく。 老朽化が進んでいくことで予算規模は拡大していくことが見込まれているが、児童生徒数の推移や利用状況に応じた対応を検討する。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検																													
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	6	目	1	説明資料	90	項目番号	5															
事務事業名	学校警備費(ろう学校)										所管部課名	教育総務部 学校管理課																	
(1) 事務事業の概要																													
実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定																						
分類	施設の維持管理に係る業務																												
根拠法令																													
事業目的	市立ろう学校の施設設備等の保全、防犯等安全を期する。										分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																	
具体的な事業内容	警備会社に機械警備を委託し、夜間休日の警備を行う。																												
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																													
区 分					令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位																				
a 事業費（予算現額・支出済額）					414	414	456	456	千円																				
b 人件費					840	857	893	885	千円																				
正規職員					0.1	0.1	0.1	0.1	人																				
再任用職員（短時間を含む）					0.0	0.0	0.0	0.0	人																				
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					0	0	0	0	千円																				
総経費（a + b）					1,254	1,271	1,349	1,341	千円																				
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																													
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>414</td><td>840</td><td>1,254</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>414</td><td>857</td><td>1,271</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>456</td><td>893</td><td>1,349</td></tr></tbody></table>														年度	事業費	人件費	総経費	令和5年度決算	414	840	1,254	令和6年度決算	414	857	1,271	令和7年度決算	456	893	1,349
年度	事業費	人件費	総経費																										
令和5年度決算	414	840	1,254																										
令和6年度決算	414	857	1,271																										
令和7年度決算	456	893	1,349																										
令和 5 年度の活動実績				令和 6 年度の活動実績				令和 7 年度の活動実績																					
・機械警備を委託した。				・機械警備を委託した。				・機械警備を委託した。																					
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	機械警備委託は、業務の性質上契約内容に変更がないが、令和7年度は人件費等の上昇により、委託料が増加した。																												
今後の事業の方向性	市立ろう学校の施設設備等の保全、防犯等安全を期するためには、不可欠な事業であるので継続する。																												

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	6	目	1	説明資料	90	項目番号	6
事務事業名	学校施設維持管理費(ろう学校)								所管部課名	教育総務部		
										学校管理課		

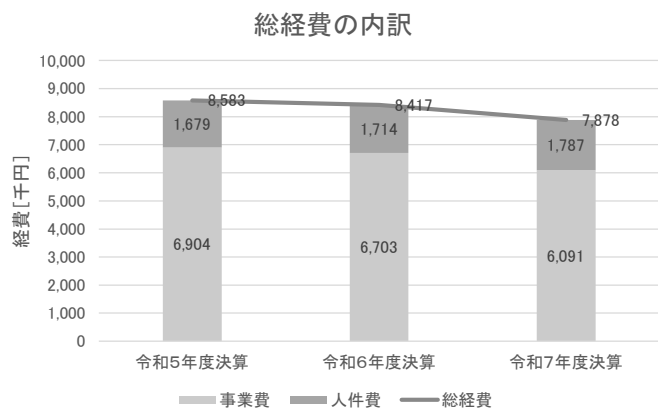
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	市立ろう学校の財産及び施設設備の管理保全					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・光熱水費等の支出。 ・清掃委託、保守管理委託及び点検業務委託を行うことによって、施設設備の故障、事故の未然防止及び良好な使用につなげる。 ・学校用地管理のための境界確定協議及び測量を必要に応じて実施。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	6,904	6,703	6,091	8,558	千円
b 人件費	1,679	1,714	1,787	1,771	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	8,583	8,417	7,878	10,329	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績		令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
	・トイレ、窓ガラス清掃 ・給水設備受水槽点検 ・自家用電気工作物点検 ・体育器具等点検 ・消防設備点検 ・樹木等管理委託 ・建築基準法第12条点検 ・光熱水費、電話料金等 ・施設修繕ほか	・トイレ、窓ガラス清掃 ・給水設備受水槽点検 ・自家用電気工作物点検 ・体育器具等点検 ・消防設備点検 ・樹木等管理委託 ・建築基準法第12条点検 ・光熱水費、電話料金等 ・施設修繕ほか	・トイレ、窓ガラス清掃 ・給水設備受水槽点検 ・自家用電気工作物点検 ・体育器具等点検 ・消防設備点検 ・樹木等管理委託 ・建築基準法第12条点検 ・光熱水費、電話料金等 ・施設修繕ほか
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	共通の仕様で発注できる清掃、保守点検など、また地区別に発注できる樹木等管理は小中学校とまとめることにより、事務処理及び経費の軽減に努めている。 令和5年度は危険樹木の伐採を強化したため支出が増加し、令和6年度は危険樹木の伐採がなかったため支出が減少した。 令和7年度は、前年度より契約電力量及び電力使用量が減少したため支出が減少した。		
今後の事業 の方向性	市立ろう学校の施設設備等の維持、安全確保のためには、不可欠な事業であるので継続する。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	6	目	1	説明資料	91	項目番号	7
事務事業名	教材費(ろう学校)(総務関係)										所管部課名	教育総務部 総務課		
(1) 事務事業の概要														
実施分類	直営	財源構成	国・県		受益者負担		なし		事業終了の見込		未定			
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務													
根拠法令														
事業目的	横須賀市立ろう学校の教材費の予算計上及び執行により、市立ろう学校の教材の充実を図り、教育内容の向上を目指す。										分野別計画	横須賀市教育振興基本計画		
具体的な事業内容	・総務課 学校への予算配当、支出処理、学校共通教材等の調達 ・学校 校長裁量による学校配当予算の執行(支出処理は総務課)													
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源 (人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)														
区 分					令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位					
a 事業費 (予算現額・支出済額)					4,756	4,647	4,674	4,758	千円					
b 人件費					910	967	1,003	999	千円					
正規職員					0.1	0.1	0.1	0.1	人					
再任用職員 (短時間を含む)					0.0	0.0	0.0	0.0	人					
会計年度任用職員 (フルタイム、パートタイム)					70	110	110	114	千円					
総経費 (a + b)					5,666	5,614	5,677	5,757	千円					
(3) 活動実績と年度ごとの推移 (【総経費の内訳】)														
総経費の内訳														
令和 5 年度の活動実績					令和 6 年度の活動実績					令和 7 年度の活動実績				
・教材費 4,756千円					・教材費 4,647千円					・教材費 4,674千円				
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	・各年度で学校配当予算を有効に活用し、運営状況に応じて、ろう学校が必要な物品等を調達しているため、年度ごとの決算額は増減している。													
今後の事業の方向性	学校運営に必要な事業(経費)のため事業廃止の予定はないが、執行にあたっては小中学校等との学校間での不用物品の相互利用を行うなど更なる効率的な執行を図っていく。													

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	6	目	1	説明資料	91	項目番号	8(1)
事務事業名	学校保健業務費(ろう学校)								所管部課名	学校教育部		
										保健体育課		

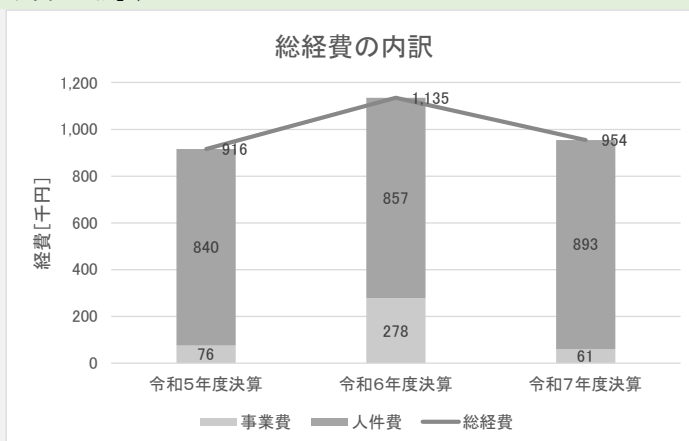
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校保健安全法						
事業目的	ろう学校保健業務の円滑化のため、環境衛生の管理、保健室の充実等を図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	保健室に必要な物品の購入、救急患者移送用自動車の借り上げ、計量器の検査を実施する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	76	278	61	76	千円
b 人件費	840	857	893	885	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	916	1,135	954	961	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績		令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・計量器検査 0台(隔年実施) ・保健室の消耗品、医薬材料の予算を配当し支出を行った。		・計量器検査 3台(隔年実施) ・保健室の消耗品、医薬材料の予算を配当し支出を行った。 ・書類戸棚 1台	・計量器検査 0台(隔年実施) ・保健室の消耗品、医薬材料の予算を配当し支出を行った。
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	計量器検査を隔年実施しているため、事業費は年度によって変わる。 令和6年度は備品を購入したため、事業費が増額となった。		
今後の事業 の方向性	ろう学校の児童生徒園児の健やかな成長のために継続していく必要がある。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	6	目	1	説明資料	91	項目番号	8(2)																
事務事業名		児童・生徒健康管理費(ろう学校)									所管部課名	学校教育部 保健体育課																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	部分委託	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定																							
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務																													
根拠法令	学校保健安全法、独立行政法人日本スポーツ振興センター法																													
事業目的	学校における児童生徒の健康を保持増進し、また、学校管理下における児童生徒の災害に備え独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済に加入して、学校運営の円滑な実施を確保する。									分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																			
具体的な事業内容	・学校保健安全法の規定に基づき、児童生徒の各種健康診断を実施する。 定期健康診断の実施(心臓、尿検査、胸部X線撮影は業務委託) ・学校管理下における児童生徒の災害に備え、独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済に加入する。 掛金内訳 小中学部 設置者負担(6/10)、個人負担(4/10) 高等部及び幼稚部 設置者負担(4/10)、個人負担(6/10)																													
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源 (人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)																														
区 分					令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位																					
a 事業費 (予算現額・支出済額)					46	35	40	87	千円																					
b 人件費					840	857	893	885	千円																					
正規職員					0.1	0.1	0.1	0.1	人																					
再任用職員 (短時間を含む)					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
会計年度任用職員 (フルタイム、パートタイム)					0	0	0	0	千円																					
総経費 (a + b)					886	892	933	972	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移 (【総経費の内訳】)																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費 (千円)</th><th>人件費 (千円)</th><th>総経費 (千円)</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>840</td><td>46</td><td>886</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>857</td><td>35</td><td>892</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>893</td><td>40</td><td>933</td></tr></tbody></table>															年度	事業費 (千円)	人件費 (千円)	総経費 (千円)	令和5年度決算	840	46	886	令和6年度決算	857	35	892	令和7年度決算	893	40	933
年度	事業費 (千円)	人件費 (千円)	総経費 (千円)																											
令和5年度決算	840	46	886																											
令和6年度決算	857	35	892																											
令和7年度決算	893	40	933																											
令和 5 年度の活動実績					令和 6 年度の活動実績					令和 7 年度の活動実績																				
・災害共済加入者 21人 ・受検者(心臓検診) 5人 ・受検者(尿検査) 21人					・災害共済加入者 20人 ・受検者(心臓検診) 4人 ・受検者(尿検査) 22人					・災害共済加入者 19人 ・受検者(心臓検診) 4人 ・受検者(尿検査) 19人																				
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)		対象者数により多少経費の増減はあるが、事業費は概ね横ばいである。																												
今後の事業の方向性		ろう学校の児童生徒園児の健やかな成長のために、継続していく必要がある。																												

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	6	目	1	説明資料	92	項目番号	9(1)(2)(3)
事務事業名	学校給食費(ろう学校)									所管部課名	学校教育部		
											学校食育課		

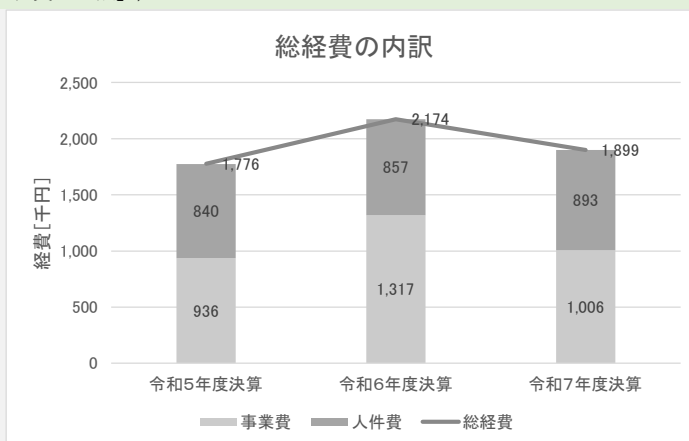
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令	学校給食法、同法施行令、学校給食実施基準、横須賀市給食条例、同条例施行規則、特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する						
事業目的	ろう学校の給食設備及び給食室機能の維持管理、消耗品、機械器具の調達等により、安全・安心な学校給食を安定的に提供する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・給食実施に必要な消耗品・備品を調達する。 ・故障、経年劣化した給食調理設備を更新する。 ・給食施設の清掃、保守管理等の業務を委託する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	936	1,317	1,006	1,099	千円
b 人件費	840	857	893	885	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0		0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0		0	千円
総経費（a + b）	1,776	2,174	1,899	1,984	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績		令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・給食用消耗品購入 調理器具、調理用雑貨、洗剤ほか ・給食関係委託料 調理ごみ収集運搬、清掃、ガス回転釜等点検ほか		・給食用消耗品購入 調理器具、調理用雑貨、洗剤ほか ・給食用備品購入 ガステーブル ・給食関係委託料 調理ごみ収集運搬、清掃、ガス回転釜等点検ほか	・給食用消耗品購入 調理器具、調理用雑貨、洗剤ほか ・給食関係委託料 調理ごみ収集運搬、清掃、ガス回転釜等点検ほか
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の 増減理由等）	調達する消耗品・備品が年度ごとに異なるため、事業費が増減する。		
今後の事業 の方向性	安全・安心な学校給食を安定的に提供するため、事業を継続する。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検																													
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	6	目	1	説明資料	92	項目番号	9(4)															
事務事業名	学校給食材料費(ろう学校)										所管部課名	学校教育部 学校食育課																	
(1) 事務事業の概要																													
実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込		未定																					
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務																												
根拠法令	学校給食法、同法施行令、学校給食実施基準、横須賀市給食条例、同条例施行規則、特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する																												
事業目的	安全・安心な学校給食を提供するため、ろう学校給食用の食材を調達する。										分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																	
具体的な事業内容	ろう学校給食に必要な食材を調達する。																												
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																													
区 分					令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位																				
a 事業費（予算現額・支出済額）					3,700	4,055	4,051	4,649	千円																				
b 人件費					840	857	893	885	千円																				
正規職員					0.1	0.1	0.1	0.1	人																				
再任用職員（短時間を含む）					0.0	0.0	0.0	0.0	人																				
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					0	0	0	0	千円																				
総経費（a + b）					4,540	4,912	4,944	5,534	千円																				
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																													
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>3,700</td><td>840</td><td>4,540</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>4,055</td><td>857</td><td>4,912</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>4,051</td><td>893</td><td>4,944</td></tr></tbody></table>														年度	事業費	人件費	総経費	令和5年度決算	3,700	840	4,540	令和6年度決算	4,055	857	4,912	令和7年度決算	4,051	893	4,944
年度	事業費	人件費	総経費																										
令和5年度決算	3,700	840	4,540																										
令和6年度決算	4,055	857	4,912																										
令和7年度決算	4,051	893	4,944																										
令和 5 年度の活動実績				令和 6 年度の活動実績				令和 7 年度の活動実績																					
・ろう学校給食用食材の調達 （給食実施回数 190回）				・ろう学校給食用食材の調達 （給食実施回数 190回）				・ろう学校給食用食材の調達 （給食実施回数 190回）																					
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）				令和5年度以降は例年どおり通年の給食を実施している。 令和5年度については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰分を補填した。 物価高騰に対応するため、令和7年度は給食費を改定した。 しかし、保護者負担の軽減を図るため、給食費増額分は市が負担することとし、保護者負担額は前年と同額とした。 なお、令和6年度の不足分、および令和7年度給食費増額分については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して補填した。																									
今後の事業の方向性				安全・安心な学校給食を安定的に提供するため、事業を継続する。																									

令和 8 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	6	目	1	説明資料	92	項目番号	10(1)																
事務事業名		各種競技大会選手派遣費(ろう学校)									所管部課名	学校教育部 保健体育課																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営		財源構成	市単		受益者負担		なし		事業終了の見込		未定																		
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																													
根拠法令																														
事業目的	各種体育大会・スポーツ大会に、ろう学校児童生徒を派遣することにより、学校相互の親睦、社会性の体得、体力づくり、人格形成を図る。									分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																			
具体的な事業内容	・各種体育大会へ横須賀市代表として選手を派遣し、激励費を支給する。 ・全国大会出場に対し、壮行会費用を支給する。 ・全国体育大会出場に際し、学校・生徒の志気の高揚、市民へのPRのため、懸垂幕(横断幕)を作成、掲示する。 ・神奈川県中学校体育連盟、関東聾学校体育連盟負担金の負担																													
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源 (人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)																														
区 分					令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位																					
a 事業費 (予算現額・支出済額)					32	32	32	302	千円																					
b 人件費					840	857	893	885	千円																					
正規職員					0.1	0.1	0.1	0.1	人																					
再任用職員 (短時間を含む)					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
会計年度任用職員 (フルタイム、パートタイム)					0	0	0	0	千円																					
総経費 (a + b)					872	889	925	1,187	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移 (【総経費の内訳】)																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>840</td><td>32</td><td>872</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>857</td><td>32</td><td>889</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>893</td><td>32</td><td>925</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和5年度決算	840	32	872	令和6年度決算	857	32	889	令和7年度決算	893	32	925
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和5年度決算	840	32	872																											
令和6年度決算	857	32	889																											
令和7年度決算	893	32	925																											
令和 5 年度の活動実績					令和 6 年度の活動実績					令和 7 年度の活動実績																				
・神奈川県中学校体育連盟負担金と関東聾学校体育連盟負担金の負担					・神奈川県中学校体育連盟負担金と関東聾学校体育連盟負担金の負担					・神奈川県中学校体育連盟負担金と関東聾学校体育連盟負担金の負担																				
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)		全国・関東大会の開催地や、出場生徒数によって増減する。																												
今後の事業の方向性		いずれの事業も、ろう学校児童生徒の学校相互の親睦、社会性の体得、体力づくり、人格形成に資するため、当面維持継続していく。																												

令和 8 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	6	目	1	説明資料	92	項目番号	10(2)																
事務事業名	事務費等(ろう学校)(校長会等負担金)										所管部課名	教育総務部																		
												総務課																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営	財源構成		市単	受益者負担		なし		事業終了の見込		未定																			
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																													
根拠法令																														
事業目的	ろう学校校長会等各種団体に参加して、学校運営に関する情報収集・研修・調査研究を行い、学校教育の推進及び学校経営の充実発展に資するための経費										分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																		
具体的な事業内容	ろう学校校長会等各種団体への参加負担金の支出																													
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																														
区 分					令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度決算		令和 7 年度予算		単位																	
a 事業費（予算現額・支出済額）					55		55		54		55		千円																	
b 人件費					840		857		893		885		千円																	
正規職員					0.1		0.1		0.1		0.1		人																	
再任用職員（短時間を含む）					0.0		0.0		0.0		0.0		人																	
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					0		0		0		0		千円																	
総経費（a + b）					895		912		947		940		千円																	
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>840</td><td>55</td><td>895</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>857</td><td>55</td><td>912</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>893</td><td>54</td><td>947</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和5年度決算	840	55	895	令和6年度決算	857	55	912	令和7年度決算	893	54	947
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和5年度決算	840	55	895																											
令和6年度決算	857	55	912																											
令和7年度決算	893	54	947																											
令和 5 年度の活動実績					令和 6 年度の活動実績					令和 7 年度の活動実績																				
・ろう学校校長会負担金 37千円					・ろう学校校長会負担金 37千円					・ろう学校校長会負担金 37千円																				
・ろう学校教頭会負担金 7千円					・ろう学校教頭会負担金 7千円					・ろう学校教頭会負担金 6千円																				
・その他負担金 11千円					・その他負担金 11千円					・その他負担金 11千円																				
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	各種負担金額は年度ごとで異なるが、支出額は例年同規模で推移している。																													
今後の事業の方向性	校長等がろう学校校長会等各種団体に参加して、学校運営に関する情報収集・研修・調査研究を行い、その成果を学校の教育推進及び学校経営に活用させていくことは市立ろう学校運営に不可欠であるため、今後も事業を継続していく予定である。																													

令和 8 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	学校運営費(養護学校)(総務関係)	所管部課名	教育総務部
			総務課

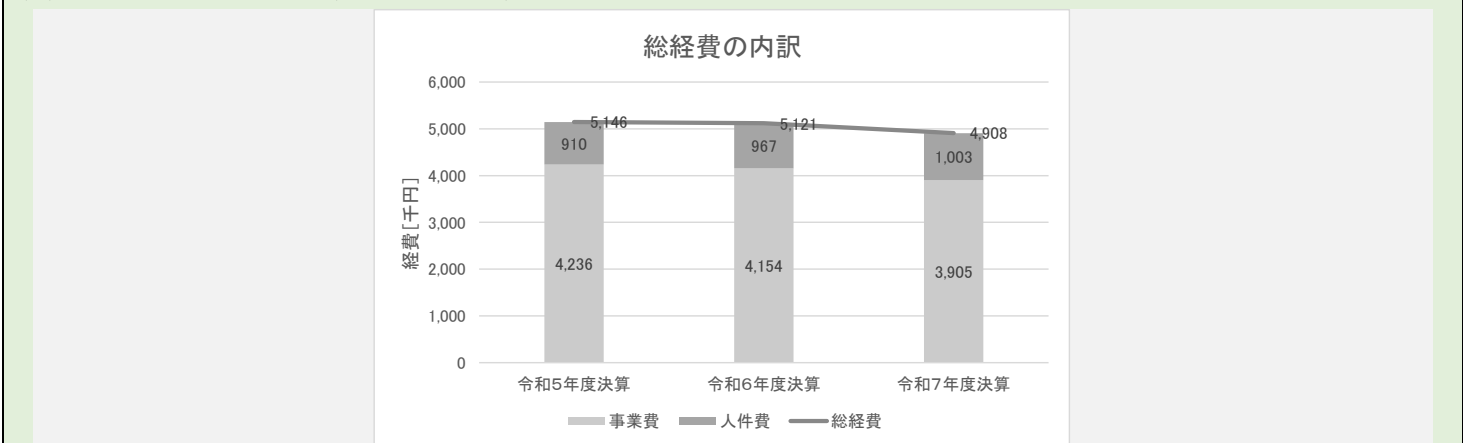
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	横須賀市立養護学校の学校運営上必要な経常経費の予算計上及び執行により、市立養護学校の整備の充実を図り、教育内容の向上を目指す。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画	
具体的な事業内容	- 総務課 学校への予算配当、支出処理、学校共通物品等の調達(災害時用備蓄品等) - 学校 校長裁量による学校配当予算の執行(支出処理は総務課)							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,236	4,154	3,905	4,103	千円
b 人件費	910	967	1,003	999	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	70	110	110	114	千円
総経費（a + b）	5,146	5,121	4,908	5,102	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



--	--	--

・学校備品購入費 306千円	・学校備品購入費 413千円	・学校備品購入費 788千円
・学校暖房等燃料費 35千円	・学校暖房等燃料費 45千円	・学校暖房等燃料費 35千円
・修繕料 445千円	・修繕料 444千円	・修繕料 498千円
・管理用消耗品費 883千円	・管理用消耗品費 958千円	・管理用消耗品費 658千円
・機械器具借上料 2,129千円	・機械器具借上料 2,129千円	・機械器具借上料 1,419千円
・その他学校管理運営費 438千円	・その他学校管理運営費 165千円	・その他学校管理運営費 507千円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・各年度で学校配当予算を有効に活用し、運営状況に応じて、養護学校が必要な物品等を調達しているため、年度ごとの決算額は増減している。
--	--

今後の事業 の方向性	学校運営に必要な事業(経費)のため事業廃止の予定はないが、執行にあたっては小中学校等との学校間での不要物品の相互利用を行うなど、更なる効率的な執行を図っていく。
---------------	--

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	6	目	2	説明資料	94	項目番号	2(6)
事務事業名	特別支援学校費養護学校費(欠席等連絡ツール使用料)								所管部課名	学校教育部		
										教育研究所(教育情報担当)		

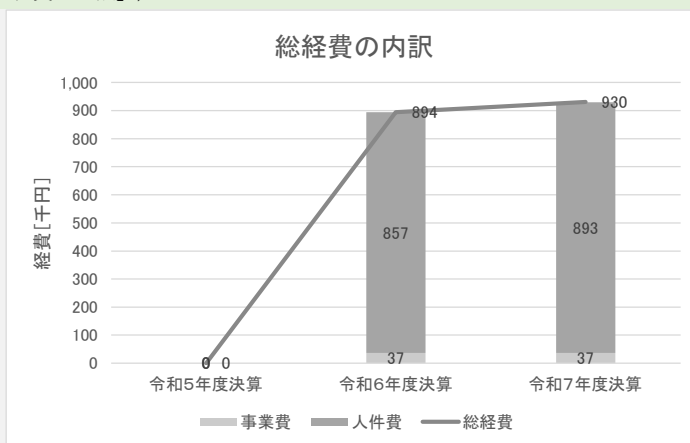
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	学校教育の情報化の推進に関する法律							
事業目的	保護者の電話連絡の負担軽減及び学校現場の効率化等のため、保護者から学校への欠席等の連絡が行える電子ツールを導入する。(養護学校分)					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画	
具体的な事業内容	欠席等連絡ツールの使用料(養護学校分)							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）		37	37	37	千円
b 人件費	0	857	893	885	千円
正規職員		0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）		0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）		0	0	0	千円
総経費（a + b）	0	894	930	922	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
	始業時の時間帯に集中していた電話対応が減少し、教職員が始業時の打合せや授業準備等、本来の業務に専念できる環境となった。学校運営の効率化や業務負担の軽減に寄与した。	始業時の時間帯に集中していた電話対応が減少し、教職員が始業時の打合せや授業準備等、本来の業務に専念できる環境となった。 また、市からの緊急一斉連絡を可能にした。その他、市のイベント情報等を紙での配付から電子データによる配信に移行した。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・学校数や単価に変更はないため、事業費については同額で推移している。
今後の事業の方向性	欠席等連絡ツールについては、学校運営の効率化や業務負担の軽減に資するものとして、今後も継続して活用を進める。加えて、教育委員会等からの保護者への一斉送信についても引き続き行う。今後も、ICTを活用した連絡体制の充実と学校現場の働き方改革を推進していく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	6	目	2	説明資料	95	項目番号	4																
事務事業名	学校営繕工事費(養護学校)										所管部課名	教育総務部 学校管理課																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定																							
分類	施設の維持管理に係る業務																													
根拠法令																														
事業目的	施設(建物・校庭等)の経年劣化による損耗、機能低下に対する復旧及び教育環境の質的向上を図る。										分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																		
具体的な事業内容	校舎、体育館、校庭等の学校施設を、工事や修繕により維持補修する。																													
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源 (人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)																														
区 分					令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位																					
a 事業費 (予算現額・支出済額)					11,002	46,523	9,291	9,615	千円																					
b 人件費					1,679	3,428	3,573	3,541	千円																					
正規職員					0.2	0.4	0.4	0.4	人																					
再任用職員 (短時間を含む)					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
会計年度任用職員 (フルタイム、パートタイム)					0	0	0	0	千円																					
総経費 (a + b)					12,681	49,951	12,864	13,156	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移 (【総経費の内訳】)																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費 (千円)</th><th>人件費 (千円)</th><th>総経費 (千円)</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>11,002</td><td>1,679</td><td>12,681</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>46,523</td><td>3,428</td><td>49,951</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>9,291</td><td>3,573</td><td>12,864</td></tr></tbody></table>															年度	事業費 (千円)	人件費 (千円)	総経費 (千円)	令和5年度決算	11,002	1,679	12,681	令和6年度決算	46,523	3,428	49,951	令和7年度決算	9,291	3,573	12,864
年度	事業費 (千円)	人件費 (千円)	総経費 (千円)																											
令和5年度決算	11,002	1,679	12,681																											
令和6年度決算	46,523	3,428	49,951																											
令和7年度決算	9,291	3,573	12,864																											
令和 5 年度の活動実績					令和 6 年度の活動実績					令和 7 年度の活動実績																				
・修繕の実施 教室内照明の改修など、9件の修繕を実施した。 ・業務委託の実施 天井改修工事設計業務委託を実施した。					・修繕の実施 プールリフトの改修など、19件の修繕等を実施した。 ・改修工事の実施 体育館の天井改修工事を実施した。					・修繕の実施 外壁の補修など、13件の修繕を実施した。 ・改修工事の実施 高圧引込設備の改修工事を実施した。																				
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	実施する工事は、学校からの修理要望や現場調査を基に、安全・安心および教育環境の維持・向上の観点から必要なものや、緊急を要するものは優先的に実施するなど、必要に応じて内容や実施時期を調整している。 また、工事はカリキュラムや行事への影響など、学校への負担も大きいことから、学校と事前に調整をし、工期の調整や施工の可否を判断している。 以上の点から、実施する工事や修繕が年度によって変わるため、金額が変動する。																													
今後の事業 の方向性	学校施設の安全を確保するため、事業を継続し必要な修繕を実施していく。 老朽化が進んでいくことで予算規模は拡大していくが見込まれているが、児童生徒数の推移や利用状況に応じた対応を検討する。																													

令和 8 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	6	目	2	説明資料	95	項目番号	5																
事務事業名	学校警備費(養護学校)										所管部課名	教育総務部 学校管理課																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込		未定																						
分類	施設の維持管理に係る業務																													
根拠法令																														
事業目的	市立養護学校の施設設備等の保全、防犯等安全を期する。									分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																			
具体的な事業内容	警備会社に機械警備を委託し、夜間休日の警備を行う。																													
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																														
区 分					令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位																					
a 事業費（予算現額・支出済額）					414	414	414	415	千円																					
b 人件費					840	857	893	885	千円																					
正規職員					0.1	0.1	0.1	0.1	人																					
再任用職員（短時間を含む）					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					0	0	0	0	千円																					
総経費（a + b）					1,254	1,271	1,307	1,300	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>414</td><td>840</td><td>1,254</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>414</td><td>857</td><td>1,271</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>414</td><td>893</td><td>1,307</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和5年度決算	414	840	1,254	令和6年度決算	414	857	1,271	令和7年度決算	414	893	1,307
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和5年度決算	414	840	1,254																											
令和6年度決算	414	857	1,271																											
令和7年度決算	414	893	1,307																											
令和 5 年度の活動実績					令和 6 年度の活動実績					令和 7 年度の活動実績																				
・機械警備を委託した。					・機械警備を委託した。					・機械警備を委託した。																				
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	機械警備委託は、業務の性質上契約内容に変更がないことから、委託料は同額で推移している。																													
今後の事業の方向性	市立養護学校の施設設備等の保全、防犯等安全を期するためには、不可欠な事業であるので継続する。																													

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	6	目	2	説明資料	95	項目番号	6
事務事業名	学校施設維持管理費(養護学校)								所管部課名	教育総務部		
										学校管理課		

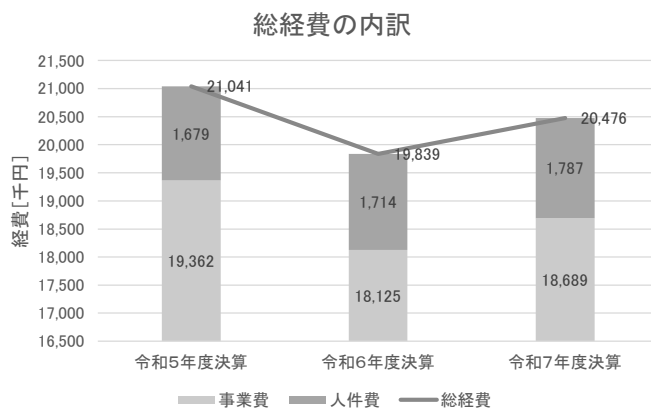
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	市立養護学校の財産及び施設設備の管理保全					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・光熱水費等の支出。 ・清掃委託、保守管理委託及び点検業務委託を行うことによって、施設設備の故障、事故の未然防止及び良好な使用につなげる。 ・学校用地管理のための境界確定協議及び測量を必要に応じて実施。 ・行政財産目的外使用許可により使用した電気料金実費相当額を徴収し、財源に充当。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	19,362	18,125	18,689	26,232	千円
b 人件費	1,679	1,714	1,787	1,771	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	21,041	19,839	20,476	28,003	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績		令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
	・トイレ、窓ガラス清掃 ・給水設備受水槽点検 ・自家用電気工作物点検 ・ボイラー、空調設備保守点検 ・体育器具等点検 ・消防設備点検 ・樹木等管理委託 ・建築基準法第12条点検 ・光熱水費、電話料金等 ・施設修繕ほか	・トイレ、窓ガラス清掃 ・給水設備受水槽点検 ・自家用電気工作物点検 ・ボイラー、空調設備保守点検 ・体育器具等点検 ・消防設備点検 ・樹木等管理委託 ・建築基準法第12条点検 ・光熱水費、電話料金等 ・施設修繕ほか	・トイレ、窓ガラス清掃 ・給水設備受水槽点検 ・自家用電気工作物点検 ・ボイラー、空調設備保守点検 ・体育器具等点検 ・消防設備点検 ・樹木等管理委託 ・建築基準法第12条点検 ・光熱水費、電話料金等 ・施設修繕ほか
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の 増減理由等）	共通の仕様で発注できる清掃、保守点検など、また地区別に発注できる樹木等管理は小中学校とまとめることにより、事務処理及び経費の軽減に努めている。 令和5年度は危険樹木の伐採を強化したため支出が増加し、令和6年度は危険樹木の伐採がなかったため支出が減少した。 令和7年度は建築基準法第12条点検の外壁調査該当年度により業務委託料が増加した。		
今後の事業 の方向性	市立養護学校の施設設備等の維持、安全確保のためには、不可欠な事業であるので継続する。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	6	目	2	説明資料	96	項目番号	7
事務事業名	教材費(養護学校)(総務関係)								所管部課名	教育総務部		
										総務課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	横須賀市立養護学校の教材費の予算計上及び執行により、市立養護学校の教材の充実を図り、教育内容の向上を目指す。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・総務課 学校への予算配当、支出処理、学校共通教材等の調達 ・学校 校長裁量による学校配当予算の執行（支出処理は総務課）						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	3,253	3,304	3,336	3,341	千円
b 人件費	910	967	1,003	999	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	70	110	110	114	千円
総経費（a + b）	4,163	4,271	4,339	4,340	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・教材費 3,253千円	・教材費 3,304千円	・教材費 3,336千円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・各年度で学校配当予算を有効に活用し、運営状況に応じて、養護学校が必要な物品等を調達しているため、年度ごとの決算額は増減している。
今後の事業 の方向性	学校運営に必要な事業（経費）のため事業廃止の予定はないが、執行にあたっては小・中学校等との学校間での不要物品の相互利用を行うなど、さらなる効率的な執行を図っていく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	6	目	2	説明資料	96	項目番号	8(1)																
事務事業名	学校保健業務費(養護学校)										所管部課名	学校教育部 保健体育課																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし		事業終了の見込	未定																						
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務																													
根拠法令	学校保健安全法																													
事業目的	養護学校保健業務の円滑化のため、環境衛生の管理、保健室の充実等を図る。										分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																		
具体的な事業内容	保健室に必要な物品の購入、救急患者移送用自動車の借り上げ、計量器の検査を実施する。																													
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																														
区 分					令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位																					
a 事業費（予算現額・支出済額）					583	474	517	566	千円																					
b 人件費					840	857	893	885	千円																					
正規職員					0.1	0.1	0.1	0.1	人																					
再任用職員（短時間を含む）					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					0	0	0	0	千円																					
総経費（a + b）					1,423	1,331	1,410	1,451	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>583</td><td>840</td><td>1,423</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>474</td><td>857</td><td>1,331</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>517</td><td>893</td><td>1,410</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和5年度決算	583	840	1,423	令和6年度決算	474	857	1,331	令和7年度決算	517	893	1,410
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和5年度決算	583	840	1,423																											
令和6年度決算	474	857	1,331																											
令和7年度決算	517	893	1,410																											
令和 5 年度の活動実績					令和 6 年度の活動実績					令和 7 年度の活動実績																				
・計量器検査 2台(隔年実施) ・保健室の消耗品、医薬材料の予算を配当し支出を行った。					・計量器検査 0台(隔年実施) ・保健室の消耗品、医薬材料の予算を配当し支出を行った。					・計量器検査 2台(隔年実施) ・保健室の消耗品、医薬材料の予算を配当し支出を行った。																				
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	予算の範囲内で調整し保健室の消耗品、医薬材料を購入しているため、事業費は例年同程度で推移している。																													
今後の事業の方向性	養護学校の児童生徒の健やかな成長のために継続していく必要がある。																													

令和 8 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	6	目	2	説明資料	96	項目番号	8(2)																
事務事業名		児童・生徒健康管理費(養護学校)									所管部課名	学校教育部 保健体育課																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	部分委託	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込		未定																						
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務																													
根拠法令	学校保健安全法、独立行政法人日本スポーツ振興センター法																													
事業目的	学校における児童生徒の健康を保持増進し、また、学校管理下における児童生徒の災害に備え独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済に加入して、学校運営の円滑な実施を確保する。									分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																			
具体的な事業内容	・学校保健安全法の規定に基づき、児童生徒の各種健康診断を実施している。 定期健康診断の実施(心臓、尿検査、胸部X線撮影は業務委託) ・学校管理下における児童生徒の災害に備え、独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済に加入している。 掛金内訳 小中学部 設置者負担(6/10)、個人負担(4/10)																													
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源 (人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)																														
区 分					令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位																					
a 事業費 (予算現額・支出済額)					49	49	55	74	千円																					
b 人件費					840	857	893	885	千円																					
正規職員					0.1	0.1	0.1	0.1	人																					
再任用職員 (短時間を含む)					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
会計年度任用職員 (フルタイム、パートタイム)					0	0	0	0	千円																					
総経費 (a + b)					889	906	948	959	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移 (【総経費の内訳】)																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>49</td><td>840</td><td>889</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>49</td><td>857</td><td>906</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>55</td><td>893</td><td>948</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和5年度決算	49	840	889	令和6年度決算	49	857	906	令和7年度決算	55	893	948
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和5年度決算	49	840	889																											
令和6年度決算	49	857	906																											
令和7年度決算	55	893	948																											
令和 5 年度の活動実績					令和 6 年度の活動実績					令和 7 年度の活動実績																				
・災害共済加入者 42人 ・受検者(尿検査) 35人					・災害共済加入者 35人 ・受検者(心臓検診) 4人 ・受検者(尿検査) 34人					・災害共済加入者 33人 ・受検者(心臓検診) 7人 ・受検者(尿検査) 32人																				
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	対象者数により多少経費が増減するが事業費は概ね横ばいである。																													
今後の事業の方向性	養護学校の児童生徒の健やかな成長のために、継続していく必要がある。																													

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	6	目	2	説明資料	96	項目番号	9(1)(2)(3)
事務事業名	学校給食費(養護学校)								所管部課名	学校教育部		
										学校食育課		

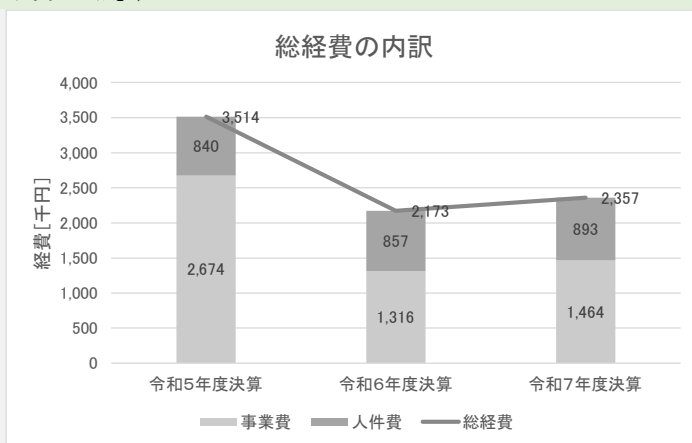
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令	学校給食法、同法施行令、学校給食実施基準、横須賀市給食条例、同条例施行規則						
事業目的	養護学校の給食設備及び給食室機能の維持管理、消耗品、機械器具の調達等により、安全・安心な学校給食を安定的に提供する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・給食実施に必要な消耗品・備品を調達する。 ・故障、経年劣化した給食調理設備を更新する。 ・給食施設の清掃、保守管理等の業務を委託する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	2,674	1,316	1,464	1,502	千円
b 人件費	840	857	893	885	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	3,514	2,173	2,357	2,387	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績		令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
- 給食用消耗品購入 調理器具、調理用雑貨、洗剤ほか - 給食用備品購入 熱風消毒保管庫 包丁まな板殺菌庫ほか - 給食関係委託料 調理ごみ収集運搬、清掃、ガス回転釜等点検ほか		- 給食用消耗品購入 調理器具、調理用雑貨、洗剤ほか - 給食用備品購入 調理器具ほか - 給食関係委託料 調理ごみ収集運搬、清掃、ガス回転釜等点検ほか	- 給食用消耗品購入 調理器具、調理用雑貨、洗剤ほか - 給食用備品購入 ガス炊飯器 - 給食関係委託料 調理ごみ収集運搬、清掃、ガス回転釜等点検ほか
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の 増減理由等）	調達する消耗品・備品が年度ごとに異なるため、事業費が増減する。		
今後の事業 の方向性	安全・安心な学校給食を安定的に提供するため、事業を継続する。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	6	目	2	説明資料	97	項目番号	9(4)
事務事業名	学校給食材料費(養護学校)									所管部課名	学校教育部		
											学校食育課		

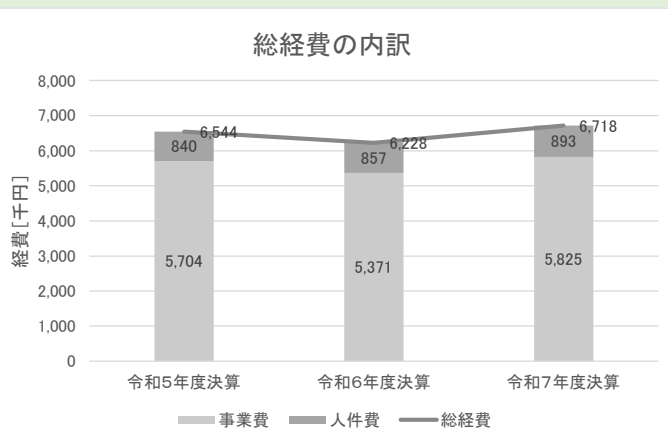
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校給食法、同法施行令、学校給食実施基準、横須賀市給食条例、同条例施行規則						
事業目的	安全・安心な学校給食を提供するため、養護学校給食用の食材を調達する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	養護学校給食に必要な食材を調達する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	5,704	5,371	5,825	6,862	千円
b 人件費	840	857	893	885	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	6,544	6,228	6,718	7,747	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・養護学校給食用食材の調達 （給食実施回数 181回）	・養護学校給食用食材の調達 （給食実施回数 181回）	・養護学校給食用食材の調達 （給食実施回数 181回）

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和5年度以降は例年どおり通年の給食を実施している。 令和5年度については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰分を補填した。 物価高騰に対応するため、令和7年度は給食費を改定した。 しかし、保護者負担の軽減を図るため、給食費増額分は市が負担することとし、保護者負担額は前年と同額とした。 なお、令和6年度の不足分、および令和7年度給食費増額分については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して補填した。
今後の事業 の方向性	安全・安心な学校給食を安定的に提供するため、事業を継続する。

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	6	目	2	説明資料	97	項目番号	10(2)
事務事業名	スクールバス運行管理事業									所管部課名	学校教育部		
											支援教育課		

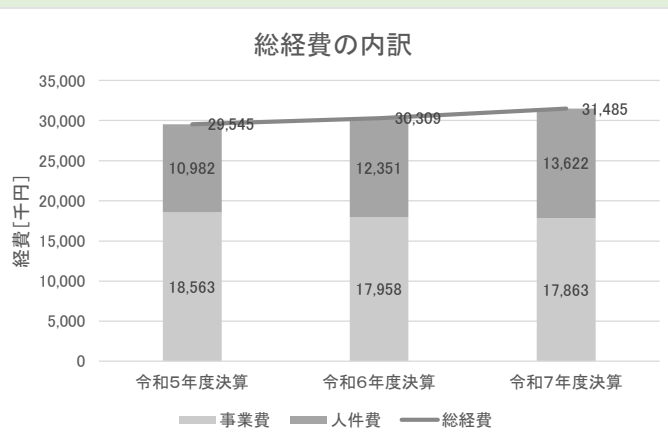
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市立養護学校で学ぶ、児童生徒（重度心身障害児）の通学のために運行するスクールバスの運行管理と、重度な障害のある児童生徒の生活介助を行うことにより、特別支援学校として安全管理面における条件整備を確立する。					分野別計画	
具体的な事業内容	・スクールバス3台の維持管理・運行委託 ・スクールバスを補完するスクールタクシーを委託 ・介助員の配置						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	18,563	17,958	17,863	22,574	千円
b 人件費	10,982	12,351	13,622	14,647	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	10,142	11,494	12,729	13,762	千円
総経費（a + b）	29,545	30,309	31,485	37,221	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績	令和7年度の活動実績
・スクールバスの維持管理・運行委託 バス乗車人数 18人(うち、医ケア車両利用 5人) ・スクールタクシー委託 タクシー乗車人数 9人(うち、医ケアタクシー利用 6人) ・バス・タクシー添乗介助員、校内介助員の配置 ・スクールバスにおきざり防止装置を設置(令和4年度予算の繰越) ※希望のあった医ケア児10人、1人当たり週2回の支援	・スクールバスの維持管理・運行委託 バス乗車人数 15人(うち、医ケア車両利用 3人) ・スクールタクシー委託 タクシー乗車人数 5人 (うち、医ケアタクシー利用 3人) ・バス・タクシー添乗介助員、校内介助員の配置 ※希望のあった医ケア児6人、1人当たり週3回の支援	・スクールバスの維持管理・運行委託 バス乗車人数 14人(うち、医ケア車両利用 2人) ・スクールタクシー委託 タクシー乗車人数 5人 (うち、医ケアタクシー利用 3人) ・バス・タクシー添乗介助員、校内介助員の配置 ※希望のあった医ケア児5人、1人当たり週3回の支援

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	修繕の必要性や燃料費、スクールタクシーの運行回数等により変動しているが、大きな増減はない。
今後の事業 の方向性	養護学校への通学に必要なスクールバスの維持管理・運行委託及びスクールタクシーの委託を引き続き実施していく。 また、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律に基づき、スクールタクシーに看護師を同乗させ保護者負担の軽減を図っており、継続して事業を実施していく。

令和 8 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	6	目	2	説明資料	97	項目番号	11																
事務事業名	事務費等(養護学校)(教職員関係)										所管部課名	教育総務部 教職員課																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定																							
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務																													
根拠法令																														
事業目的	市立養護学校職員が出張する際の経費であり、養護学校教育の充実に資する。										分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																		
具体的な事業内容	市立養護学校職員が、修学旅行・宿泊遠足・事務連絡・教員研修等出張する際の旅費等を支出する。																													
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源 (人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)																														
区 分					令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位																					
a 事業費 (予算現額・支出済額)					0	1	21	67	千円																					
b 人件費					840	857	893	885	千円																					
正規職員					0.1	0.1	0.1	0.1	人																					
再任用職員 (短時間を含む)					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
会計年度任用職員 (フルタイム、パートタイム)					0	0	0	0	千円																					
総経費 (a + b)					840	858	914	952	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移 (【総経費の内訳】)																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度決算</td><td>0</td><td>840</td><td>840</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>1</td><td>857</td><td>858</td></tr><tr><td>令和7年度決算</td><td>21</td><td>893</td><td>914</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和5年度決算	0	840	840	令和6年度決算	1	857	858	令和7年度決算	21	893	914
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和5年度決算	0	840	840																											
令和6年度決算	1	857	858																											
令和7年度決算	21	893	914																											
令和 5 年度の活動実績					令和 6 年度の活動実績					令和 7 年度の活動実績																				
・特になし(内部管理経費のみ)					・特になし(内部管理経費のみ)					・特になし(内部管理経費のみ)																				
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	新型コロナ以降、遠足や出張の機会が調整されたため。																													
今後の事業の方向性	引き続き、必要最小限の出張に留め、経費削減を図る。																													

令和 8 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	6	目	2	説明資料	97	項目番号	11
事務事業名	事務費等(養護学校)(校長会等負担金)								所管部課名	教育総務部		
										総務課		

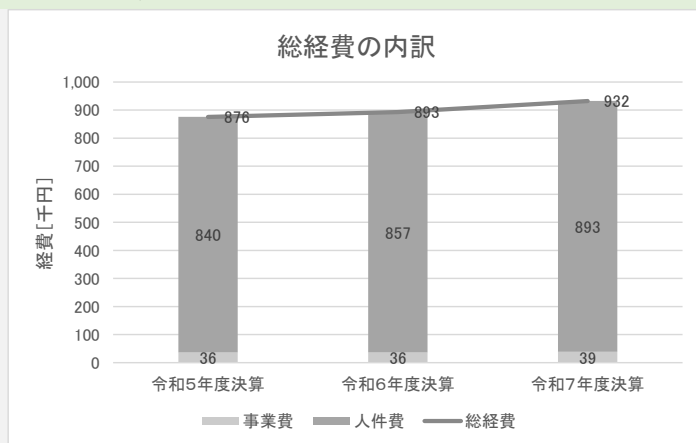
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	養護学校長会等各種団体に参加して、学校運営に関する情報収集・研修・調査研究を行い、学校教育の推進及び学校経営の充実発展に資するための経費					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	養護学校長会等各種団体への参加負担金の支出						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	36	36	39	40	千円
b 人件費	840	857	893	885	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	876	893	932	925	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績	令和 7 年度の活動実績
・養護学校長会負担金 30千円 ・養護学校教頭会負担金 6千円	・養護学校長会負担金 30千円 ・養護学校教頭会負担金 6千円	・養護学校長会負担金 30千円 ・養護学校教頭会負担金 9千円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	各種負担金額は年度ごとで異なるが、支出額は例年同規模で推移している。
今後の事業 の方向性	校長等が養護学校校長会等各種団体に参加して、学校運営に関する情報収集・研修・調査研究を行い、その成果を学校の教育推進及び学校経営に活用させていくことは市立養護学校運営に不可欠であるため、今後も事業を継続していく予定である。